

ドイツ語 ルネサンス 第4版

SAMPLE

Grammatik und Lesetext

Ichiro Kawada

Tokuo Watanabe

Chika Yamamoto

SANSHUSHA

SAMPLE

音声ダウンロード＆ストリーミングサービス（無料）のご案内

https://www.sanshusha.co.jp/text/onsei/isbn/9784384123173

本書の音声が、上記アドレスよりダウンロードおよびストリーミング再生できます。ぜひご利用ください。





はじめに

本書は、初めてドイツ語を学ぶ学生を対象とした、基本文法と初級会話の教科書の改訂版です。学習者のみなさんが飽きることなく、また途中で挫折することなく学びを続けられるよう、参考書にも匹敵する詳しさで一つ一つの項目を丁寧に解説しています。また、現代の社会状況や学習者のニーズに即したものとなるよう、語彙や例文をはじめ内容全般を見直しました。

構成においては、従来の「文法読本」という形式にこだわらず、「文法・やさしい読み物・会話」を組み合わせた形へと刷新しています。さらに、後半では過去完了、枠構造、冠飾句などの補足文法を設け、中級レベルへの橋渡しとなるように配慮しました。練習問題の独作文では、学習者が自ら正確なドイツ語の文を構築できるよう、ヒントにもさまざまな工夫を施しました。

付属の音声教材にはテキストの本文および練習問題を収録しました。特に会話教材はリスニング・シャドーイングの練習にも活用できますので、ぜひ積極的にご活用ください。表紙にはクリムトの風景画を採用し、美術書を思わせる趣ある装丁となっています。

『ドイツ語ルネサンス』は、2001年の刊行以来、幸いにも4版を重ねてまいりました。上梓されて四半世紀以上経ったことになります。今後も本書が、多くの学習者にとって新たな扉を開く契機となることを切に願っています。

ドイツ語本文の内容について細部にわたり有益なご助言をいただきましたEva Wölbling氏に深く感謝申し上げます。

最後に、本書の執筆の機会を与えてくださり、初版の企画を共に立ち上げてくださった本郷建治先生、佐藤彰先生、ならびに藤田眞一氏に、厚く御礼申し上げます。

著者一同

SAMPLE

INHALT

Das Alphabet • 1

Die Aussprache 発音 …… 2

Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1) …… 4
動詞の現在人称変化 (1)／sein, haben の現在人称変化

Lesetext 1 • 7

Lektion 2 名詞と冠詞 …… 8
名詞／冠詞／格の用法／名詞の複数形の型／複数形の定冠詞の格変化

Lektion 3 動詞の現在人称変化 (2) …… 12
動詞の現在人称変化 (2)／特に注意すべき動詞

Wie spät ist es? • 14

Lektion 4 人称代名詞・冠詞類 …… 15
人称代名詞の３格・４格／定冠詞類／不定冠詞類／疑問詞

Lesetext 2 • 19

Lektion 5 定形の位置 …… 20
定形第２位／並列の接続詞／定形第１位／命令文／副文

Lektion 6 前置詞 …… 25
２格と結びつく前置詞／３格と結びつく前置詞／４格と結びつく前置詞／
３格または４格と結びつく前置詞／特定の前置詞と結びつく動詞／
前置詞と定冠詞の融合形

Lektion 7 話法の助動詞 …… 29
話法の助動詞の人称変化／用法／話法の助動詞の独立用法／副文中の話法の助動詞

Lektion 8 動詞の３基本形 …… 32
動詞の３基本形／過去分詞に ge- がつかない動詞／過去人称変化

Lektion 9 現在完了形 …… 35
現在完了形／ haben か sein か／用例／副文中の完了形

SAMPLE

Lektion 10 **分離動詞** …… 38
分離動詞／分離動詞の３基本形と zu 不定詞／
前つづりが分離しないで１語で書かれる場合

Lektion 11 **分詞・zu 不定詞** …… 40
分詞／ zu 不定詞

Lektion 12 **形容詞** …… 43
形容詞の用法／形容詞の変化／形容詞の比較変化

Lektion 13 **再帰動詞・es の用法** …… 47
再帰代名詞と再帰動詞／非人称の主語 es の用法

Lektion 14 **受動** …… 49
動作受動／他動詞の受動／状態受動

Lektion 15 **関係代名詞** …… 51
定関係代名詞／不定関係代名詞

Lektion 16 **接続法** …… 52
直説法と接続法／接続法第１式／接続法第２式／接続法の過去

数詞１ ● 5　数詞２ ● 13　数詞３ ● 39　Familie ● 17
月・曜日・季節 ● 24　時を表す前置詞 ● 27　序数 ● 36

ドイツ語を読んでみよう ● 56
Szenen ● 60

補足文法 ● 74
主要不規則動詞変化表 ● 83

SAMPLE

Bundesrepublik Deutschland / Schweiz / Österreich



SAMPLE

01 Das Alphabet

A	a	[aː]	Albanien	Q	q	[kuː]	Quellendorf
B	b	[beː]	Berlin* ドイツの首都	R	r	[ɛr] 「エア」	Rumänien
C	c	[tseː] ツェー	Celle	S	s	[ɛs]	Stuttgart*
D	d	[deː]	Deutschland	T	t	[teː]	Tschechien
E	e	[eː] エー	Estland	U	u	[uː]	Ungarn
F	f	[ɛf]	Frankfurt*	V	v	[faʊ] ファオ	Vaduz リヒテンシュタインの首都
G	g	[geː]	Griechenland	W	w	[veː] ヴェー	Wien* オーストリアの首都
H	h	[haː]	Heidelberg*	X	x	[ɪks]	Luxemburg
I	i	[iː] イー	Innsbruck*	Y	y	[ʏpsilɔn] ユプスィロン	Bayreuth
J	j	[jɔt] ヨット	Jena	Z	z	[tsɛt] ツェット	Zürich*
K	k	[kaː]	Kroatien				
L	l	[ɛl]	Litauen	Ä	ä	[ɛː] アー・ウムラウト	Dänemark 「アー(a)」の口の形で「エー(e)」と発音する
M	m	[ɛm]	München*	Ö	ö	[øː] オー・ウムラウト	Köln* 「オー(o)」の口の形で「エー(e)」と発音する
N	n	[ɛn] エン	Niederlande	Ü	ü	[yː] ウー・ウムラウト	Düsseldorf* 「ウー(u)」の口の形で「イー(i)」と発音する
O	o	[oː]	Oslo ノルウェーの首都				
P	p	[peː]	Prag* チェコの首都	ß	ß	[ɛs'tsɛ́t] エスツェット	Gießen

SAMPLE

❶ 国名や地名を発音しましょう。
❷ 右肩に * のついている地名を、左頁の地図に書き入れましょう。
❸ 下線はEU加盟国です。

Alphabet（アルファベート）
語源的にはギリシャ文字の Alpha（アルファ）と Beta（ベータ）を合成したもの。

A, O, U の上に点を 2 つ打ったものを**ウムラウト（変母音）**という。

ß　ドイツ文字の sz の合字（ſz）に由来するもので、発音は [sˢ]。スイスでは使用しない。

Die Aussprache 発音

02

① 大体ローマ字式に発音する。
② アクセントは原則として**最初の母音**にある。
③ **アクセントのある母音**は、原則として子音字１個以下の前では長く、２個以上の前では短い（アクセントのない母音は短い）。

母音＋子音１つ以下 ⟶ **長母音**

Name　geben　Bibel　rot　du

母音＋子音２つ以上 ⟶ **短母音**

kalt　helfen　Film　Onkel　Luft

03 1 注意すべき母音

① 変母音

ä	[ɛː]	Bär	熊
	[ɛ]	Lärm	騒音
ö	[øː]	Flöte	フルート
	[œ]	Köln	ケルン（地名）
ü	[yː]	grün	みどりの
	[ʏ]	fünf	5

② 二重母音

au	[aʊ] アオ	Baum	木
äu	[ɔʏ] オイ	Bäume	木々
eu	[ɔʏ] オイ	heute	今日
ei	[aɪ] アイ	Ei aɪ	たまご
ie	[iː]	Liebe	愛
▸**ie**	[iə]	Lilie	ゆり

長母音

③ -r の母音化

-r	[ɐ] ア	mir	私に
-er	[ɐ] アー	Mutter	母

ä, ö, ü は a, o, u の後に、ß は ss の後に置かれている。 辞書

SAMPLE

04 2 注意すべき子音

④

-b	[p プ]	hal**b**	半分の
-d	[t ト]	Kin**d**	子ども
-g	[k ク]	Ber**g**	山
-ig	[ɪç イヒ]	K**ö**n**ig**	国王
-ng	[ŋ ング]	la**ng**	長い

後に母音がつかなければ濁らない



ドイツ・ライプツィヒ、トーマス教会の前のバッハ像

⑤

a, o, u, au の後の ch

喉音
前の母音を引きずりながら、のどの奥で息をかすらせる

ch	[x]	B**a**ch	小川、バッハ（音楽家）
		To**ch**ter	娘
		B**u**ch	本
		a**u**ch（アオ）	～もまた

a, o, u, au 以外のつづり字の後の ch

ch	[ç ヒ]	i**ch**	私は
		Mün**ch**en	ミュンヒェン
aɪ		rei**ch**	金持ちの
chs	[ks クス]	Fu**chs**	きつね

発音しない

母音＋**h**	[ː]	g**e****h**en	行く
長母音に		▸ woh**e**r	どこから

⑥ 英語と発音が異なる子音

j	[j イ]	**J**apan	日本
v	[f フ]	**V**ater	父
w	[v ヴ]	**W**agen	自動車
z	[ts ツ]	tan**z**en	踊る

⑦ s の発音

母音の前の s は有声音

s＋母音	[z]	**S**ohn	息子
sch	[ʃ シュ]	Ti**sch**	机
語頭で **sp-**	[ʃp- シュプ]	**Sp**iel	遊び、演奏
語頭で **st-**	[ʃt- シュト]	**St**ein	石
aɪ			
ß	[s ス]	Fu**ß**	足

sp- と st- の s は sch のように発音する

⑧

-dt	[t ト]	Sta**dt**	町
tsch	[tʃ チュ]	Deu**tsch**	ドイツ語
ɔʏ			
z	[ts ツ]	**Z**eit	時，時代
aɪ			
ts	[ts]	nach**ts**	夜に
tz	[ts]	je**tz**t	今
-ds	[ts ツ]	aben**ds**	晩に

SAMPLE

Lektion 1
erste Lektion

eins **動詞の現在人称変化 (1)**

05 1 動詞の現在人称変化 (1)

動詞の**不定形 (不定詞)**は**語幹**と**語尾 -en** (動詞によってはまれに **-n**) からなる。

動詞の現在人称変化は基本的に**語幹**に次のような**語尾**をつける。

					不定形	語幹 語尾 lern**en** lern■	語幹 語尾 trink**en** trink■
単数	1 人称	ich	イヒ	私は	ich	lern**e**	trink**e**
	2 人称	du	ドゥー	君は	du	lern**st**	trink**st**
	3 人称	er	エア	彼は	er	lern**t**	trink**t**
		sie	ズィー	彼女は	sie		
		es	エス	それは	es		
複数	1 人称	wir	ヴィーア	私たちは	wir	lern**en**	trink**en**
	2 人称	ihr	イーア	君たちは	ihr	lern**t**	trink**t**
	3 人称	sie	ズィー	彼らは / 彼女らは / それらは	sie	lern**en**	trink**en**
	2 人称	Sie 大文字	ズィー	あなた(方)は	Sie	lern**en**	trink**en**

3 人称複数の sie から 2 人称に転用されたものなので、動詞の変化も同じ。

主語に応じて変化した動詞の形を**定形 (定動詞)**という。
2人称 du, ihr は家族、友人など親しい間柄で、また子どもに対して用いる**(親称)**。
Sie は du, ihr を用いるほど親しい間柄にない大人に対して用いる**(敬称)**。
ドイツ語の現在形は英語の現在進行形にも相当する。

Er **lernt** Japanisch. Wir **lernen** Deutsch. lernen
ヤパーニッシュ　ドイチュ
Fritz, **trinkst** du Tee? — Ja, ich **trinke** Tee. trinken
Frau Schmidt, **trinken** Sie Kaffee? — Ja, ich **trinke** gern Kaffee.
シュミット　好んで、喜んで、～するのが好き

参考

ich	**–e**	wir	**–en**
du	**–st**	ihr	**–t**
er/sie/es	**–t**	sie/Sie	**–en**

SAMPLE

基本的な現在人称変化語尾は、**e・st・t・en・t・en**（エスト・テン・テン）と覚える。

06 2 sein, haben の現在人称変化

不定形 sein [ザイン]

ich	**bin** ビン	wir	**sind** ズィント
du	**bist** ビスト	ihr	**seid** ザイト
er / sie / es	**ist** イスト	sie (Sie)	**sind** ズィント

不定形 haben [ハーベン]

ich	hab**e**	wir	hab**en**
du	**hast** ハスト	ihr	hab**t** ハープト
er / sie / es	**hat** ハット	sie (Sie)	hab**en**

Ich **bin** Student. シュトゥデント
Anna **ist** jung.
Peter **hat** Fieber.

Ich **habe** heute Zeit. ツァイト
Sie **ist** Studentin. シュトゥデンティン ← 女性形
Er **ist** krank.

sein
haben

主語と動詞に注意して、日本語に訳しましょう。

1. Trink**t sie** Bier?
2. Trink**en sie** Wein?
3. Trink**en Sie** Wasser?

3 つの sie
1 の sie は *she*, 2 の sie は *they*, 3 の Sie は *you* の意味である。
文の最初にくるときは、sie も Sie も見かけ上は Sie（大文字で書きはじめる）になる。Sie trinkt ... であれば、動詞の形からこの Sie は英語の *she* であることがわかるが、Sie trinken ... の場合、*they* か *you* かは前後関係から判別する。

SAMPLE

Ich **lerne** Deutsch.
Peter **lernt** Japanisch.

動詞を辞書で調べるとき、lerne, lernt という定形のまま引かないで、不定形 **lernen** に直して引く。

辞書

Wir lernen **fleißig** Deutsch.

fleißig は副詞（「勤勉に」）であるが、辞書では形容詞（「勤勉な」）として出ている。ドイツ語では形容詞がそのまま副詞としても用いられる。

07

数詞 1

0	null	ヌル	5	fünf	フュンフ	10	zehn	ツェーン
1	eins	アインス	6	sechs	ゼクス	11	elf	エルフ
2	zwei	ツヴァイ	7	sieben	ズィーベン	12	zwölf	ツヴェルフ
3	drei	ドライ	8	acht	アハト			
4	vier	フィーア	9	neun	ノイン			

08 **1.** 不定形を人称変化させて、(　　) に入れ、日本語に訳しましょう。

1. (　　) du jetzt Deutsch? — Ja, ich (　　) jetzt Deutsch. lernen
2. (　　) du Kaffee? — Nein, ich (　　) Tee. trinken
3. Wir (　　) Fußball. (　　) ihr auch Fußball? spielen
4. Wo (　　) Heinz? — Er (　　) jetzt in Berlin. wohnen
5. Woher (　　) Herr und Frau Müller? — Sie (　　) aus Deutschland. kommen
   英 *Mr. and Mrs.*
6. Lena (　　) Studentin. Sie (　　) Philosophie. sein / studieren
7. (　　) du morgen Zeit? — Ja, morgen (　　) ich Zeit. haben

☞ 疑問詞　was (=*what*)　wo (=*where*)　woher　どこから　wohin　どこへ　wie (=*how*)

09 **2.** 不定形を人称変化させて、(　　) に入れましょう。

1. Guten Tag, ich (　　) Kenji Sato. Wie (　　) Sie? — Ich (　　) Heinz Müller.
2. Woher (　　) Sie, Herr Müller? — Ich (　　) aus München.
3. Wo (　　) Sie jetzt? — Ich (　　) jetzt in Sapporo.
4. (　　) Sie Student? — Ja, ich (　　) Student.
5. Was (　　) Sie? — Ich (　　) Jura.

sein	wohnen	heißen	kommen	studieren

10 **3.** ドイツ語でいいましょう。

1. 私たちは　今　英語とドイツ語を　**学んでいます**。
2. ペーターはワインを**飲む**のが好きです。(←ペーターは　好んで　ワインを　**飲む**。)
3. 君は音楽を**聞く**のが好きですか。(←君は　好んで　音楽を　**聞く**　か。)
   ―はい、私は　よく　バッハとモーツァルトを　**聞きます**。

hören	**lernen**	**trinken**	→定形に
jetzt	oft	gern	
Musik	Bach und Mozart	Wein	Englisch und Deutsch →文末に置く

SAMPLE

11 Lesetext 1

□ の部分を自分に置き換え、自己紹介しよう。

heißen［ハイセン］	Ich **heiße** Kenji Sato.
sein	Ich **bin** Student.
kommen	Ich **komme** aus Kyoto
wohnen［ヴォーネン］	und **wohne** jetzt in Tokyo.
studieren［シュトゥディーレン］	Ich **studiere** Jura
lernen	und **lerne** Deutsch.
spielen	Ich **spiele** gut Tennis.
trinken	Ich **trinke** viel Bier.



sein	Das **ist** Lena.
sein	Sie **ist** auch Studentin.
studieren	Sie **studiert** Musik（ムズィーク）
lernen	und **lernt** jetzt Japanisch.
spielen	Sie **spielt** gut Klavier（クラヴィーア）
singen	und **singt** gern.
sein	Sie **ist** sehr freundlich.（フロイントリヒ）

ものを示して「これ・それ・あれは…です」というときや人を紹介するときに用います。



SAMPLE

1）Jura / Philosophie / Literatur / Germanistik / Anglistik / Japanologie / Psychologie / Soziologie / Politologie / Geschichte / Ökonomie / Mathematik / Chemie / Physik / Technik / Informatik / Pharmazie / Medizin / Musik 学問名
→ studieren

2）Englisch / Französisch / Chinesisch / Koreanisch / Spanisch / Italienisch / Russisch 言語
→ lernen / sprechen / verstehen

3）Bier / Wein / Kaffee / Tee / Wasser / Apfelsaft / Cola 飲みもの
→ trinken

4）Tennis / Tischtennis / Fußball / Golf / Basketball / Federball / Volleyball / Baseball 球技
Klavier / Orgel / Geige / Flöte / Gitarre 楽器
→ spielen

5）schläfrig / aktiv / passiv / egoistisch / krank / gesund / launisch / romantisch
→ sein

Lektion 2

zweite Lektion

zwei 名詞と冠詞

12 1 名詞

男性 *m*, 女性 *f*, 中性 *n* の性の区別がある。

男性名詞 *m*		女性名詞 *f*		中性名詞 *n*	
Vater	父	Mutter	母	Kind	子ども
Mann	男性、夫	Frau	女性、妻	Haus	家
Brief	手紙	Uhr	時計	Buch	本

→5タイプある

単数 *sg*, 複数 *pl* の区別がある。
文中での働きに応じて、1格（主格）、2格（所有格）、3格（間接目的格）、4格（直接目的格）の4つの格で用いられる。

13 2 冠詞

名詞の前に置かれ、性・数（すう）・格を表す。

① 定冠詞 + 名詞の格変化

Vater, Mutter, Kind にそれぞれ男性、女性、中性の定冠詞をつけると次のような形になる。

	m	Vater 父	*f*	Mutter 母	*n*	Kind 子ども
1格	der	Vater 父が／は	die	Mutter	das	Kind
2格	des	Vaters 父の	der	Mutter	des	Kindes
3格	dem	Vater 父に	der	Mutter	dem	Kind
4格	den	Vater 父を	die	Mutter	das	Kind

☞ 定冠詞は、どれのことか聞き手が分かっているであろうと話し手が考える名詞につけられる。
→共通認識がある

男性・中性の2格は名詞に -s または -es がつく

② 不定冠詞 + 名詞の格変化

Mann, Frau, Haus にそれぞれ男性、女性、中性の不定冠詞をつけると次のような形になる。

	m	Mann 男性	*f*	Frau 女性	*n*	Haus 家
1格	ein △	Mann	eine	Frau	ein △	Haus
2格	eines	Mannes	einer	Frau	eines	Hauses
3格	einem	Mann	einer	Frau	einem	Haus
4格	einen	Mann	eine	Frau	ein △	Haus

ハオゼス

☞ 不定冠詞は、聞き手がまだ知らないであろうと話し手が考える名詞につけられる。
→共通認識がない

SAMPLE

名詞の性の割合：女性名詞が約46%、男性名詞が約34%、中性名詞が約20%となっている。

14 3 格の用法

1格 **Der Vater**[1] hat heute Geburtstag.
父は

2格 Die Uhr **des Vaters**[2] ist alt.
父の　2格は修飾する名詞の後に置く

3格 Die Tochter schenkt **dem Vater**[3] eine Uhr.
父に　schenken …[3] に…[4] を贈る

4格 Wir lieben **den Vater**[4].
父を　lieben …[4] を愛する

参考

1	der	Vater
2	des	Vaters
3	dem	Vater
4	den	Vater

15 4 名詞の複数形の型

名詞の複数形は次の５つの型に分類される。

辞書の見出しの形

	単数形 *sg*		語尾	複数形 *pl*	複数 3 格形
① 無語尾型（語尾をつけない）	Lehrer	先生	—	Lehrer △	Lehrern
	Bruder	兄、弟	¨	Brüder △	Brüdern
② -e 型（語尾 e をつける）	Tag	日	—e	Tage	Tagen
	Sohn	息子	¨e	Söhne（ゼーネ）	Söhnen
③ -er 型（語尾 er をつける）	Kind	子ども	—er	Kinder	Kindern
	Buch	本	¨er	Bücher（ビューヒャー）	Büchern
④ -en/-n 型（語尾 en か n をつける）	Frau	女性	—en	Frauen	Frauen △
	Schwester	姉、妹	—n	Schwestern	Schwestern△
⑤ -s 型（語尾 s をつける）	Auto	自動車	—s	Autos	Autos △

SAMPLE

Haben Sie Kinder? – Ja, ich habe zwei Söhne（ゼーネ） und drei Töchter（テヒター）.

- Kinder：er をとって Kind で引く
- Söhne：¨ と e をとって Sohn で引く
- Töchter：¨ をとって Tochter で引く

辞書

それぞれの名詞がどの型に属するかは、辞書で調べることができる（次頁参照）。

16 5 複数形の定冠詞の格変化

複数形には性の区別はない。定冠詞は **die, der, den, die** に一本化される。

複数の 3 格は名詞に **-n** がつく（**-en/-n** 型、**-s** 型を除く）。

	単数形	Lehrer	Tag	Kind	Frau	Auto
		無語尾型	-e 型	-er 型	-en / -n 型	-s 型
	複数形	Lehrer △	Tage	Kinder	Frauen	Autos
1 格	die	Lehrer	Tage	Kinder	Frauen	Autos
2 格	der	Lehrer	Tage	Kinder	Frauen	Autos
3 格	den	Lehrern	Tagen	Kindern	Frauen △	Autos △
4 格	die	Lehrer	Tage	Kinder	Frauen	Autos

比較　ある本を 1 冊買う　Ich kaufe ein Buch.

ある本を数冊買う　Ich kaufe Bücher.（冠詞なし）

それらの本を買う　Ich kaufe die Bücher.

SAMPLE

❶ 辞書

男性名詞　単数 2 格は Lehrers

Lehrer [léːrer] 男 -s/-

複数形は無語尾型で Lehrer △（先生たち）

女性名詞　単数 2 格では無変化

Frau [fraʊ] 女 -/-en

複数形は -en 型で Frauen（女性たち）

Kind [kɪnt] 中 -[e]s/-er

中性名詞　単数 2 格は Kindes または Kinds

複数形は -er 型で Kinder（子どもたち）

❷ 男性名詞で単数 2 格と複数 1 格が **-en**/-en, **-n**/-n, **-n**/-en と辞書にあれば、それは**男性弱変化名詞**である。Mensch, Polizist など。

☞ 文法補足 11（80 頁）参照。

男性弱変化名詞の見分け方

- 単数 2 格、3 格、4 格で -en か -n がつく。
- 複数形は -en 型か -n 型。

Übung 2

17 **1.** 下線部に格語尾を入れましょう（不要なときは△をつける）。動詞の不定形を調べましょう。

不定形

1. Der Mann schenkt d..... Frau d..... Ring. …3 に…4 を贈る [ ]
2. Er hat ein..... Sohn und ein..... Tochter. …4 を持っている [ ]
3. Das Auto d..... Mannes ist ein BMW. 2格に注意 …である [ ]
4. Der Ober bringt d..... Gast ein..... Messer, ein..... Gabel und ein..... Löffel. …3 に…4 を持っていく [ ]

18 **2.** 日本語に訳しましょう。ただし、3., 4., 5. は複数形を書き出し、単数１格形を書きましょう。

1. Wir kennen die Eltern der Kinder. 2格に注意
2. Sie kauft einen Schirm (シルム), eine Tasche und ein Buch.
3. Die Frau bringt den Kindern die Blumen.
4. Wir bleiben hier zwei Nächte.
5. Ich habe einen Bruder (ネヒテ) und drei Schwestern.

	複数形	単数１格形
3.	.....	.....
	.....	.....
4.	.....	.....
5.	.....	.....

SAMPLE

単数２格語尾と複数３格語尾

- 男性名詞の大部分と中性名詞は、単数２格で -s または -es がつく。
- -s がつくか -es がつくかは名詞の性に関係しない。
  ふつう、２音節以上の名詞には -s、１音節の名詞には -es をつける。

-s か -es かは辞書で調べることができる。辞書の引き方参照。

１格	der	Onkel	der	Hund	
２格	des	Onkel**s** デス オンケルス	des	Hund**es** デス フンデス	des ２音節以上 s　des １音節 es

- 女性名詞は単数形では語尾をつけない。
- 複数３格で -n をつける。

１格	die	Kinder			ただし １格	die	Frauen △	die Autos △
３格	den	Kinder**n** デン キンダーン	den	複数形 **n**	３格	den	Frauen △	den Autos △

drei 動詞の現在人称変化 (2)

19 1 動詞の現在人称変化 (2)

du, er/sie/es（3人称単数）のところで**幹母音**が変わる動詞がある。

	幹母音		du, er / sie / es			
①	a [ア(ー)]	→	ä [エ(ー)]	fahren	schlafen	など
②	e [エ]	→	i [イ]	sprechen	essen	helfen など
③	e [エー]	→	ie [イー]	sehen	lesen	など

			① a→ä	② e→i	③ e→ie	
			fahren	sprechen	sehen	lesen
1	ich	-e	fahre	spreche	sehe	lese
2	du	-st	fährst フェーアスト	sprichst シュプリヒスト	siehst ズィースト	liest リースト
3	er / sie / es	-t	fährt	spricht	sieht	liest
1	wir	-en	fahren	sprechen	sehen	lesen
2	ihr	-t	fahrt	sprecht	seht	lest
3	sie / (Sie)	-en	fahren	sprechen	sehen	lesen

複数は規則的に変化

3人称単数

Der Zug **fährt** nach München. — fahren

Spricht (ツーク) Frau Sato gut Deutsch? — sprechen

— Ja, sie **spricht** sehr gut Deutsch.

Liest du gern? — Ja, ich **lese** gern. — lesen

副 好んで、喜んで、～するのが好き

fährt, spricht や liest の意味を調べようとして、その不定形がわからない場合。 辞書

① fährt, spricht, liest のまま引いてみる→不定形を指示してある。
(← fahren, ← sprechen, ← lesen)
② 教科書（83 頁）や辞書の巻末にある「不規則動詞変化表」を調べてみる。

SAMPLE

20 2 特に注意すべき動詞

	geben	nehmen	werden	wissen	mögen
ich	gebe	nehme	werde	**weiß** △ ヴァイス	**mag** △ マーク
du	**gibst** ギープスト	**nimmst** ニムスト	**wirst** ヴィルスト	**weißt** ヴァイスト	**magst** マークスト
er / sie / es	**gibt** ギープト	**nimmt** ニムト	**wird** △ ヴィルト	**weiß** △ ヴァイス	**mag** △ マーク
wir	geben	nehmen	werden	wissen	mögen
ihr	gebt	nehmt	werdet	wisst	mögt
sie / (Sie)	geben	nehmen	werden	wissen	mögen

同形

複数は規則的に変化

Mein Sohn hat morgen Geburtstag. Er **wird** 18 Jahre alt. 英 *years old* — werden

achtzehn

e 型の複数形

Was machst du morgen Abend? — Ich **weiß** es noch nicht. — wissen

Ich **mag** Fleisch[4]. Und was **isst** du gern? — mögen / essen

— Ich **esse** gern Fisch.

Es **gibt** dort einen Park[4]. — geben

► es gibt + 4 格 熟語

SAMPLE

21 数詞 2

13	dreizehn	ドライツェーン	20	zwanzig (英 -ty)	ツヴァンツィヒ	30	dreißig (z のかわりに ß)	ドライスィヒ
14	vierzehn	フィアツェーン	21	einundzwanzig	1 と 20	40	vierzig	
15	fünfzehn	フュンフツェーン	22	zweiundzwanzig	2 と 20	50	fünfzig	
16	sechzehn	ゼヒツェーン	23	dreiundzwanzig	3 と 20	60	sechzig	
17	siebzehn	ズィープツェーン		1 の位 10 の位		70	siebzig	
18	achtzehn	アハツェーン				80	achtzig	
19	neunzehn	ノインツェーン				90	neunzig	

→ 末尾が 1 ～ 9 の 2 桁の数は「1 の位 und 10 の位」と後ろから前に読む

22 **1.** 主語を変えて、例の日本語を参考に、文を作りましょう。

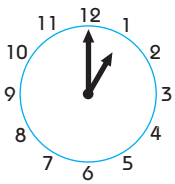
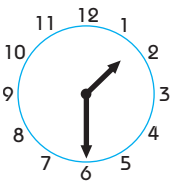
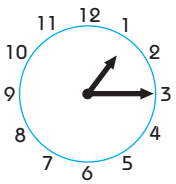
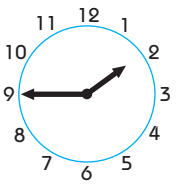
1. Ich **fahre** morgen nach Berlin. 私は明日ベルリンへ**行きます**。 fahren
   - **a.** _____ du _____?
   - **b.** Peter _____.
2. Sie **spricht** gut Englisch. 彼女は上手に英語を**話す**。 sprechen
   - **a.** Ich _____.
   - **b.** Herr und Frau Müller _____.
3. **Lesen** Sie oft Bücher? あなたはよく本を**読みます**か？ lesen
   - **a.** _____ du _____?
   - **b.** Das Kind _____.
4. Wir **sehen** gern Filme. 私たちは映画を**見る**のが好きだ。 sehen
   - **a.** Lena _____.
   - **b.** _____ ihr _____?

23 **2.** 下線部の不定形を書き出し、全文を日本語に訳しましょう。

1. Pst! Das Baby schläft.
2. Der Schüler gibt dem Lehrer ein Heft.
3. Nimmst du den Bus? — Nein, ich nehme ein Taxi.

SAMPLE

24 **Wie spät ist es? — Es ist...**

表記	**13:00 Uhr**	**13:30 Uhr**	**13:15 Uhr**	**13:45 Uhr**
公式：24時間制（テレビ・ラジオ・駅など）	dreizehn Uhr	dreizehn Uhr dreißig	dreizehn Uhr fünfzehn	dreizehn Uhr fünfundvierzig
非公式：12時間制（日常表現）	ein Uhr/eins	halb zwei ハルプ 1 時半	Viertel nach eins フィルテル 1 時 15 分すぎ	Viertel vor zwei 2 時 15 分前

► halb （…時に向かって）半分の　Viertel 4 分の 1

vier 人称代名詞・冠詞類

25 1 人称代名詞の３格・４格

		1人称	2人称		3人称		
					m	*f*	*n*
単数 *sg*	1	ich	du	Sie	er	sie	es
	3	**mir**	**dir**	**Ihnen** (イーネン)	**ihm** (イーム)	**ihr** (イーア)	**ihm**
	4	**mich**	**dich**	**Sie**	**ihn**	**sie**	**es**
						pl	
複数 *pl*	1	wir	ihr	Sie		sie	
	3	**uns**	**euch** (オイヒ)	**Ihnen**		**ihnen**	
	4	**uns**	**euch**	**Sie**		**sie**	

Ich liebe **dich**[4], aber du liebst **mich**[4] nicht.
君を　私を
lieben …[4] を愛する

英語の ***my, your, his, her*** などにあたる所有冠詞は **3** 不定冠詞類を参照。

Ich gratuliere **ihr**[3]. Heute ist **ihr** Geburtstag.
彼女に　彼女の

３人称の人称代名詞は人だけでなく事物を表す男性名詞 *m*・女性名詞 *f*・中性名詞 *n*・複数名詞 *pl* も受ける。➡ er, sie が「彼」「彼女」とは限らない。「それ」と訳す場合もある。

Wo ist die **Studentin**? — **Sie**[1] ist dort.
f　彼女は　英 *there*
sie（３単）

Wo ist die **Zeitung**? — **Sie**[1] ist dort.
f　それは
sie（３単）

Der **Kaffee** ist stark. — Ich trinke **ihn**[4] nicht.
m　それを
er の４格

Wie ist das **Buch**? — **Es**[1] ist interessant.
n　それは
es

Leihen Sie[3] mir die **Bücher**[4]? — Ja, ich leihe **sie**[4] Ihnen[3].
ライエン　*pl*　それらを
sie（３複）の４格
leihen …[3] に…[4] を貸す

▶ ３格と４格の語順：４格の人称代名詞が常に前（☞補足文法６）。

SAMPLE

26 2 定冠詞類

定冠詞	定冠詞類				
der	**dies-■**	**jed-■**（単数のみ）	**welch-■**	**all-■**	**solch-■**
	この～	どの～も	どの～？	すべての～	そのような～

定冠詞類は**定冠詞に準じた語尾**をつける。→ 強変化（格表示）語尾といわれる。

	m この犬■	*f* この女性■	*n* この子ども■ 語尾に注意！	*pl* この子どもたち■
1	dies**er** Hund	dies**e** Frau	dies**es** Kind	dies**e** Kinder
2	dies**es** Hund**es**	dies**er** Frau	dies**es** Kind**es**	dies**er** Kinder
3	dies**em** Hund	dies**er** Frau	dies**em** Kind	dies**en** Kinder**n**
4	dies**en** Hund	dies**e** Frau	dies**es** Kind	dies**e** Kinder

語尾に注意！

Welche Uhr[4] kaufen Sie dem Vater[3]? — Ich kaufe ihm[3] **dies**e Uhr[4]. welcher
どの時計を　この時計を

☞ 辞書では dies**er**, welch**er** のように、男性1格の形で調べる。

Das Wasser **dies**es See**s**[2] ist sehr kalt. dieser
この湖の

Ich trinke **jed**en Tag[4] Rotwein. jeder
毎日←4格の副詞的用法（英 *every day*）

27 3 不定冠詞類

不定冠詞	不定冠詞類					
ein-■	所有冠詞 **mein-■**	**dein-■**	**sein-■**	**ihr-■**	**sein-■**	**Ihr-■**
	私の～	君の～	彼の～	彼女の～	その～	あなたの～
	unser-■	**euer-■**		**ihr-■**		**Ihr-■**
	私たちの～	君たちの～		彼ら・彼女ら・それらの～		あなた方の～
	否定冠詞 **kein-■**					
	（1つも）～ない					

☞ 辞書で sein（英 *be*）と sein（英 *his*）を間違わないように。

不定冠詞類は**不定冠詞に準じた語尾**をつける。

	m 私の先生■	*f* 私の娘■	*n* 私の家■	*pl* 私の子どもたち■
1	mein△ Lehrer	mein**e** Tochter	mein△ Haus	mein**e** Kinder
2	mein**es** Lehrer**s**	mein**er** Tochter	mein**es** Haus**es**	mein**er** Kinder
3	mein**em** Lehrer	mein**er** Tochter	mein**em** Haus	mein**en** Kinder**n**
4	mein**en** Lehrer	mein**e** Tochter	mein△ Haus	mein**e** Kinder

定冠詞類との違いは△印の3か所（*m*1, *n*1, *n*4）に格語尾がないこと。

SAMPLE

jed**e** Woche[4] 毎週　jed**en** Monat[4] 毎月　jed**es** Jahr[4] 毎年　dies**es** Jahr[4] 今年

Wie ist **Ihr** Name[1]? — **Mein** Name[1] ist Heinz Müller. Ihr / mein
あなたの名前**は** **私の**名前**は**

Der Garten **meines** Hauses[2] ist nicht so groß. mein
私の家**の**

Er schickt **seinem** Lehrer[3] eine Ansichtskarte. schicken …[3] に…[4] を送る sein
彼の先生**に** アンズィヒツカルテ

Ich habe **keine** Kinder[4]. haben …[4] を持っている 否定冠詞 kein
er 型の複数形
子どもがいません（子どもたち**を**もっていて**ない**）。

28 4 疑問詞

疑問代名詞

	誰	何
1	wer	was
2	wessen	-
3	wem	-
4	wen	was

参考

der	das
des	des
dem	dem
den	das

疑問副詞

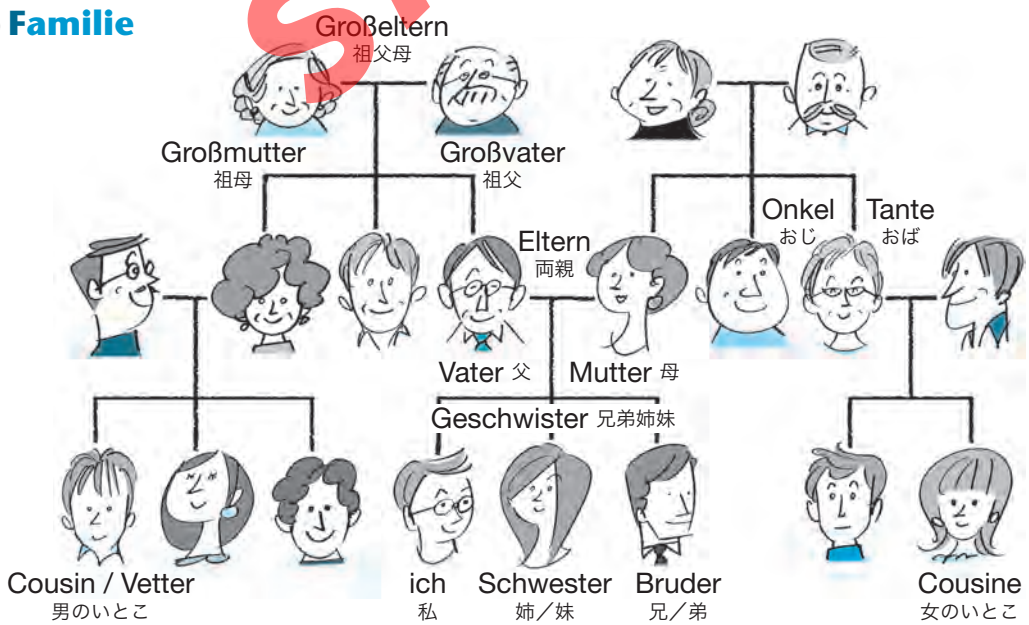
wann いつ
warum なぜ ヴァルーム
wie どんな、どのように
wo どこに、どこで
wohin どこへ
woher どこから

Wer[1] kommt heute? — Meine Großeltern kommen.

Wen[4] sucht sie? — Sie sucht ihre Kinder[4]. suchen …[4] を探す
イーレ

Wann beginnt der Unterricht? — Ich glaube, um neun Uhr.
ウンターリヒト

29 Familie



SAMPLE

【練習】①君の両親[3]**に** ②彼の弟[4]**を** ③彼女の姉[2]**の** ④私たちのおじ[3]**に** ⑤君たちの母[3]**に** ⑥あなたの犬[2]**の**

30 **1.** 音声を聞いて、人称代名詞を下線部に入れましょう。動詞の不定形、意味、格支配を調べましょう。

1. Wie finden Sie das Bild? — Ich finde _____ schön.
2. Ich kaufe der Frau[3] den Ring[4] und gebe _____ ihr[3].
   （3 格と 4 格の語順：4 格の人称代名詞が常に前）
3. Ich schenke _____ eine Kamera.
4. Liebst du _____? — Ja, ich liebe _____ sehr.
5. Ich danke _____ herzlich.
   （あなたに／副詞）
6. Verstehen Sie mich? — Ja, ich verstehe _____.

31 **2.** 格語尾を下線部に入れましょう。

1. Dies____ Buch ist interessant.
2. Ich esse dies____ Kuchen.
3. Welch____ Tasche kaufst du? — Ich kaufe dies____ Tasche.
4. Ich suche solch____ Schuhe.
   （e 型の複数形）

32 **3.** 格語尾を下線部に入れましょう（不要なときには、△を入れる）。

1. Mein____ Mann ist Österreicher.
   （エスターライヒャー）
2. Ich habe kein____ Auto.
3. Er kauft sein____ Sohn dies____ Wörterbuch.
   （ヴェルターブーフ） Wörter（「単語」の複数）+Buch（本）
4. Das ist ein Foto mein____ Eltern. 2 格に注意
5. Lieben Sie Ihr____ Familie?
   （ファミーリエ）
   — Ja, ich liebe mein____ Familie sehr.

33 **4.** 与えられた語を使ってドイツ語でいいましょう。

1. 私の姉**は**[1] 彼女の夫**に**[3] この時計**を**[4] 贈る。
   Mein■ Schwester *f* / ihr■ Mann *m* / dies■ Uhr *f* / schenken

2. この CD **は**[1] 誰のものですか？（←誰**に**[3] 属しますか）
   dies■ CD / wer / gehören
   （格変化・文頭）
   それ**は**[1] 私のものです。（←私**に**[3] 属する）
   sie / ich / gehören
   （格変化）

SAMPLE

Lesetext 2

34 1 K: Kenji L: Lena

K: **Meine Eltern** haben bald Geburtstag.

L: Was schenkst du **ihnen**?

K: Ich kaufe **meinem Vater** einen Kugelschreiber und **meiner Mutter** eine Tasche.

L: Hast du ein Foto **deiner Eltern**?

K: Ja, ich zeige **dir** ein Foto **meiner Familie**.

mein の *pl.* 1 格 → meine

sie（彼ら、彼女ら）の 3 格 → ihnen

mein の *m.* 3 格 → meinem

mein の *f.* 3 格 → meiner

dein の *pl.* 2 格 → deiner

du の 3 格 → dir

mein の *f.* 2 格 → meiner

35 2

Mitte August **nimmt** Anna Urlaub und **fährt** nach Italien. Sie **spricht** gut Italienisch. Sie **isst** sehr gern italienisch: Spaghetti und Pizza.

nehmen

fahren　sprechen

essen

36 3 L: Lena K: Kenji

L: **Sag** mal, Kenji, **hast** du Hobbys?

K: Ja, ich **habe** Hobbys. Ich **spiele** gern Tennis und **sehe** sehr oft Filme.

L: Was **siehst** du gern?

K: Ich **sehe** besonders gern Actionfilme.

sagen　haben

haben　spielen

sehen

sehen

sehen

italienisch essen　イタリア風に食事をする→イタリア料理を食べる

italienisch［イタリエーニッシュ］

sag mal　ねえ（呼びかけのことば）

besonders［ベゾンダース］

Actionfilm［アクション・フィルム］

SAMPLE

Lektion 5

fünfte Lektion

fünf **定形の位置**

主語が定まった動詞の形

37 1 定形第２位

疑問詞のない疑問文をのぞき、主文（独立した文）の**定形は２番目**に置かれる（**定形第２位の原則**）。文頭に主語がくるとは限らない。

0	1	2	
	Er	**wohnt**	jetzt in Berlin.
	Jetzt	**wohnt**	er in Berlin.
	In Berlin	**wohnt**	er jetzt.
	Wo	**wohnt**	er jetzt?
	Wohnt	er	jetzt in Berlin?
Ja,	er	**wohnt**	jetzt in Berlin.
Nein,	er	**wohnt**	jetzt nicht in Berlin.

疑問詞のない疑問文の定形は第１位

38 2 並列の接続詞

aber しかし　**und** そして　**oder** あるいは　**denn** というのは、～だから
sondern そうではなくて　など

▶ これらが文頭にきても、定形の位置に影響を及ぼさない。

	0	1	2	3
Ich liebe sie,	**aber**	sie	**liebt**	mich nicht.
Heute fahren wir nach Wien,	**und**	morgen	**besuchen**	wir die Oper.
Ich gehe zu Bett,	**denn**	ich	**bin**	müde.

Tipp! 定形の位置のまとめ

	1	2			文末	
主文						
						? / !
副文						

①従属接続詞 ②疑問詞 ③関係詞

定形の位置は、１番目、２番目、文末のいずれかに決まっている。

SAMPLE

ウソだ！（und, sondern, oder, denn, aber）は 0 の位置。

39 3 定形第 1 位

疑問詞のない疑問文、命令文では**定形は第 1 位**に置かれる。

1	2	3	
Fahren	Sie	nach München?	fahren
Fahren	Sie	nach München!	

40 4 命令文

相手に対して**命令や依頼**をするときに用いる。相手 (du, ihr, Sie) によって 3 種類の形がある。

① du（君）に対して　**語幹**！　主語は言わない。
Komm sofort!　君、すぐ来なさい！　kommen
du の現在人称変化で、幹母音 e が i/ie に変わる動詞は同様に変化する。
Sprich Deutsch!　君、ドイツ語を話して！　参考　du sprich**st**　sprechen

② ihr（君たち）に対して　**語幹**＋ **t**!（現在人称変化と同じ形）　主語は言わない。
Sprecht Deutsch!　君たち、ドイツ語を話して！　参考　ihr sprech**t**　sprechen

③ Sie（あなた）に対して　**語幹** ＋ **en** Sie！（疑問文と同じ形）　主語を必ず言う。
Sprechen Sie Deutsch!　ドイツ語を話してください！／話すように！　sprechen

		kommen	sprechen	sein
① du に対して	—!	Komm!	Sprich!	**Sei** ... ! （～であれ！）
② ihr に対して	—t!	Kommt!	Sprecht!	**Seid** ... !
③ Sie に対して	—en Sie!	Kommen Sie!	Sprechen Sie!	**Seien Sie** ... !

► du に対する命令形は語幹＋ e となる場合もある。Komme sofort!
► sein の Sie に対する命令形は現在人称変化と異なる。

41 5 副文

副文（独立していない文。①従属の接続詞に導かれた文②間接疑問文③関係文［51 頁参照］）では**定形は文末に**置かれる。

① 従属の接続詞

als ... …したとき	**dass ...** …ということ、…(である) と	**ob ...** …かどうか	**obwohl ...** …だけれども	**weil ...** …なので	**wenn ...** …ならば、…するとき	など

SAMPLE

主文			副文			
1	2	3				文末
Ich	**glaube**,		**dass**	er	morgen	**kommt**.
				彼が	明日	来る と
Ich	**fahre**	nach Wien,	**wenn**	ich	Zeit	**habe**.
				私は	暇が	ある ならば

副文が先行すると

1	2	定形第２位

Wenn ich Zeit **habe**, **fahre** ich nach Wien.

定形がとなり合わせ

② 間接疑問文

主文			副文				
1	2	3				文末	
Wir	**wissen**	nicht,	**wo**	sie	jetzt	**wohnt**.	参考：Wo wohnt sie jetzt?
			どこに	彼女が	いま	住んでいる	のか…

SAMPLE

42 Dialog

- ☐ Guten Morgen!
- ☐ Guten Tag!
- ☐ Guten Abend!
- ☐ Gute Nacht!
- ☐ Grüß Gott!（南ドイツ・オーストリアで）
- ☐ Danke schön! — Bitte schön! / Bitte sehr!
- ☐ Vielen Dank! — Gern geschehen. / Nichts zu danken.
- ☐ Alles klar! 英 *All right!*
- ☐ Wie geht es Ihnen?
- ☐ Danke, gut! Und Ihnen?
- ☐ Es geht mir auch gut.
- ☐ Viel Spaß! 楽しんでね。
- ☐ Gute Reise! よいご旅行を。
- ☐ Viel Erfolg! 成功を祈ります。
- ☐ Alles Gute! お元気で、万事うまくいきますように。
- ☐ Auf Wiedersehen!
- ☐ Tschüss!

43 **1.** **2つの文を従属の接続詞でつないで一つの文にしましょう。**

1. 主文 Ich lese zu Hause.
   （zu Hause：自宅で）
   副文 Das Wetter ist schlecht. wenn

2. 主文 Ich hoffe.
   （hoffe：英 *hope*）
   副文 Du wirst bald wieder gesund. dass
   （wirst：werden）

3. 副文 Mein Freund ist sehr reich. obwohl
   主文 Er ist nicht glücklich.

44 **2.** **日本語を参考に下線部にドイツ語を入れましょう。**

1. Hast du jetzt Zeit?
   —Nein, aber .... Zeit.
   いいえ、でも明日（morgen）はひまです。

2. ...., oder ich verstehe dich nicht!（主語のない文）
   （oder：さもないと（命令の後で））
   君、ゆっくり（langsam）話して（sprechen）！

3. .... zu Bett!（主語のない文）
   君たち、すぐに（sofort）寝なさい（zu Bett gehen）！

SAMPLE

A

45

In Deutschland spricht man Deutsch. Aber auch in Österreich, Liechtenstein, Luxemburg und in der Schweiz spricht man diese Sprache.

man：「人は」「人々は」という意味であるが、日本語では man 自体を訳出せずに受け身に訳したりすることがある。
in der Schweiz：スイスで

1. spricht の不定形を述べましょう。
2. diese Sprache とはここでは何を意味するか、一語で答えましょう。

B

46

Wir kommen aus Deutschland. Kennen Sie Deutschland? Wir sind jetzt in Japan. Wir wohnen in Tokyo. Wir studieren Japanologie. Wir lernen viel Japanisch. Wir sprechen gern Japanisch und lesen gern japanische Literatur. Wir essen oft japanisch.

Und Sie? Woher kommen Sie? Wo wohnen Sie? Was machen Sie gern? Lernen Sie Deutsch? Lesen Sie deutsche Literatur? Sehen Sie gern deutsche Filme? Essen Sie gern deutsch? Trinken Sie gern Bier oder Wein? Sprechen Sie Deutsch? Fahren Sie nach Europa, wenn Sie Urlaub haben?

kennen：～を知っている　japanisch essen：日本的に食事をする→日本料理を食べる
Japanologie：日本学　viel：たくさん　deutsch：ドイツの

47

1. 動詞に下線を引きましょう。
2. 主語を wir → ich, Sie → du に変えて、文をつくりましょう。

SAMPLE

48

im 月

Jánuar	1月（に）	Júli	7月
Fébruar	2月	Augúst	8月
März	3月	Septémber	9月
Aprí́l	4月	Októ́ber	10月
Mai	5月	Novémber	11月
Júni	6月	Dezémber	12月

アクセントに気をつけよう！
A- と -ber の月は第2音節にアクセント

am 曜日

Sonntag	日曜日（に）
Montag	月曜日
Dienstag	火曜日
Mittwoch	水曜日
Donnerstag	木曜日
Freitag	金曜日
Samstag	土曜日

im 季節

Frühling	春（に）
Sommer	夏
Herbst	秋
Winter	冬

Mittwoch ← die Mitte der Woche[2] 週のまん中 英 *middle, week*

sechs 前置詞

前置詞は名詞、代名詞の前に置かれ、名詞、代名詞の**一定の格（２格、３格、４格、３・４格）**と結びつく。前置詞には次の４種類がある。

49 1 ２格と結びつく（２格支配の）前置詞

statt^{+2}	**trotz**$^{+2}$	**wegen**$^{+2}$	**während**$^{+2}$	など
～の代わりに	～にもかかわらず	～のために（原因・理由）	～の間じゅう	

Wegen der Krankheit[2] kommt er nicht.
病気**のために**

die Krankheit

Während des Sommers[2] bleiben wir in Spanien.
夏**の間**　シュパーニエン

der Sommer

50 2 ３格と結びつく（３格支配の）前置詞

aus^{+3}	**bei**$^{+3}$	**mit**$^{+3}$	**nach**$^{+3}$
～[の中]から	（出来事）の場合に、際に、（人）のところに / で	～といっしょに、～で	～の後で、(中性の地名・家)へ、～によれば
seit^{+3}	**von**$^{+3}$	**zu**$^{+3}$	など
～以来	～から、～の、（事柄）について	（人・場所・催し物）へ	など

Holst du mir Gemüse **aus** dem Kühlschrank[3]?
holen　ゲミューゼ　冷蔵庫**から**

der Kühlschrank

Ich tanze **mit** ihr[3].
彼女**と**

sie(彼女)

Nach dem Essen[3] trinken wir eine Tasse Kaffee.
食事**の後で**　英 *a cup of ～*

das Essen

51 3 ４格と結びつく（４格支配の）前置詞

durch^{+4}	**ohne**$^{+4}$	**für**$^{+4}$	**um**$^{+4}$	**gegen**$^{+4}$	など
～を通って	～なしで	～のために、～にとって	～のまわりに、～(時)に	～に向かって、～に反して	

Er fährt **mit** seinem Fahrrad[3] **durch** den Park[4].
彼の自転車**で**　公園**を通って**

der Park

Sie arbeitet **für** die Familie[4].
家族**のために**

die Familie

SAMPLE

52 4 3格または4格と結びつく（3・4格支配の）前置詞

an$^{+3/4}$	**auf**$^{+3/4}$	**hinter**$^{+3/4}$	**in**$^{+3/4}$	**neben**$^{+3/4}$
～のそば■	～の上■	～のうしろ■	～の中■	～の横■
über$^{+3/4}$	**unter**$^{+3/4}$	**vor**$^{+3/4}$	**zwischen**$^{+3/4}$	
～の上方■	～の下■	～の前■	～（と…）の間■	以上9つ

この9つの3・4格支配の前置詞は、動詞の意味を調べ、主語や目的語の「移動の有無」を確認し、移動があれば4格、移動がなければ3格を支配する。補足文法 16（82 頁）参照

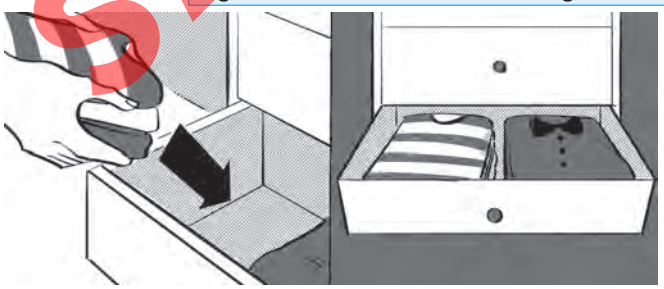
Die Mutter geht **an** die See^{4}, denn die Kinder spielen **an** der See^{3}.
海辺へ 行く【移動あり】　海辺で 遊んでいる【移動なし】

gehen ～へ行く / spielen 遊ぶ



Ich lege die Wäsche **in** den Schrank^{4}. Die Wäsche liegt jetzt **in** dem Schrank^{3}.
洗濯物をたんすの中へ 置く【移動あり】　洗濯物は たんすの中に ある【移動なし】

legen ～^{4} を～へ横たえる、置く / liegen ～に横たわっている、ある



53 5 特定の前置詞と結びつく動詞

Wir **warten auf** ihn.
彼を待つ

auf^{+4} warten

Er **denkt an** seine Heimat.
自分の故郷を思い出す

an^{+4} denken

Sie **dankt** ihm **für** das Geschenk.
プレゼントのお礼を言う

für^{+4} danken

SAMPLE

54 6 前置詞と定冠詞の融合形

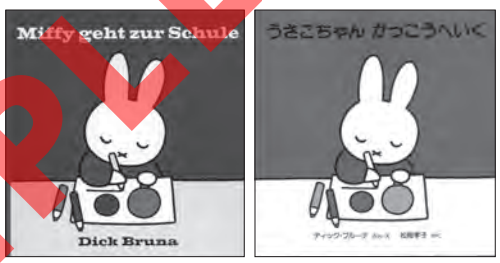
いくつかの前置詞は定冠詞 (dem[3], der[3], das[4]) と融合して、短縮形をつくる。「その…」「そこの…」「例の…」と特に強く指示する必要のない名詞の場合に、融合する。

+dem	in dem	→ **im**	an dem	→ **am**	zu dem	→ **zum**
	von dem	→ **vom**	bei dem	→ **beim**		
+der	zu der	→ **zur**				
+das	in das	→ **ins**	an das	→ **ans**	など	

Die Kinder spielen **im** Park. 公園の中で — in dem Park

Heute gehe ich **ins** Kino. ins Kino gehen 映画を見に行く — in das Kino

Wie komme ich **zur** Bibliothek? 図書館に — zu der Bibliothek



Miffy geht zur Schule, Dick Bruna, Mercis Publishing 1984
『うさこちゃんがっこうへいく』福音館書店, 1985

zur Schule gehen 英 *go to school*

SAMPLE

時を表す前置詞

vor dem Essen (～の前に)
beim Essen (～の際に)
nach dem Essen (～の後に)
um 8 Uhr 時刻 (～に)
am Sonntag 曜日 (～に)
im Sommer 季節 (～に)
im April 月 (～に)
von April **bis** Mai (von: から / bis: まで)
am Morgen 時間帯 (～に)
am Abend (～に)
in der Nacht (～に)
gegen Mittag (ごろ)

mit 前 《3格支配》～と、～といっしょに
前置詞 3格と結びつく

例：父**といっしょに**

	1	der	Vater
	2	des	Vaters
mit	**3**	**dem**	**Vater**
	4	den	Vater

辞書

55 **1.** 下線部に冠詞または融合形を入れましょう。

1. **Nach** _____ Arbeit geht er direkt nach Hause. ▶nach Haus[e] gehen
2. Mein Vater fährt **mit** _____ Auto _____ Arbeit.
3. Ich wohne jetzt **bei** _____ Eltern.
4. Sie stellt die Vase **auf** _____ Tisch. stellen …⁴ を方向へ置く
   Die Vase steht **auf** _____ Tisch. stehen …に立っている、ある
   ▶Vase は最初の文では「移動する」が、次の文では「移動しない」。
5. **Seit** _____ Woche ist sie krank und heute geht sie _____ Arzt.

56 **2.** 下線部に名詞・代名詞を格変化させて入れましょう。

1. Seit _____ lernen wir Deutsch. ein Jahr
2. Kommst du morgen mit _____ zu _____? sie 彼ら / ich
   Ja, wir kommen morgen zu _____. du
3. Die Katze schläft unter _____. der Stuhl
   └移動しない
   Der Kater geht auch unter _____.
   └移動する

57 **3.** 下線部に適当な前置詞を入れましょう。

1. Vor der Schule wartet die Mutter _____ ihre Tochter.
2. Wir diskutieren _____ das Problem.
3. Er denkt immer _____ seine Familie.

an
über
auf
英 *about*

58 **4.** ドイツ語に訳しましょう。

1. その家**の後**[3]**に**は、庭がある。
   hinter / das Haus / der Garten（文末）/ sein
   └格変化　└「所在」を表す。移動の意味なし。
2. 私たちは　明日　自転車**で**　湖**畔へ**　行く。
   wir / morgen / mit / das Fahrrad / an / der See（文末・格変化）/ fahren
   └格変化　└移動を表す動詞と用いられている。3 格支配か 4 格支配か。

▶状況語の配列規則により「時（明日）－方法（自転車で）－場所（湖畔へ）」の順。補足文法 7（78 頁）参照

SAMPLE

See 1 男 湖（英 *lake*） 2 女 海（英 *sea*）

sieben 話法の助動詞

話し手の判断や評価などを表す助動詞

59 1 話法の助動詞の人称変化

	dürfen …してよい	können …することができる	müssen …しなければならない	sollen …すべきである	wollen …するつもりである	möchte …したい
ich	**darf** △	**kann** △	**muss** △	**soll** △	**will** △	**möchte** △
du	**darfst**	**kannst**	**musst**	**sollst**	**willst**	**möchtest**
er / sie / es	**darf** △	**kann** △	**muss** △	**soll** △	**will** △	**möchte** △
wir	dürfen	können	müssen	sollen	wollen	möchten
ihr	dürft	könnt	müsst	sollt	wollt	möchtet
sie / (Sie)	dürfen	können	müssen	sollen	wollen	möchten
過去基本形	durfte	konnte	musste	sollte	wollte	(wollte)

同形

規則的に変化

☞ 過去基本形については→ Lektion 8

1	2 話法の助動詞	3	文末 本動詞の不定形
Er	**kann**	sehr gut Deutsch	**sprechen**.
Was	**möchten**	Sie	**trinken**?
Darf	man	hier	**fotografieren**?

「人は」「人々は」という意味だが man を訳さないことが多い。3人称単数。

フォトグラフィーレン

決定疑問文（定形第1位）

60 2 用法

Hier **darf** man nicht **parken**. — dürfen
駐車しては いけない

Mozart **konnte** schon mit[+3] 5 (fünf) Jahren **komponieren**. — können の過去
e型の複数形 作曲すること ができた

Ich **muss** morgen um sechs Uhr **aufstehen**. — müssen
起き なければならない

— **Soll** ich dich **wecken**? ▶相手の意向を問う表現 — sollen
英 *shall I* 起こし ましょうか

Du **sollst** jetzt deine Hausaufgaben **machen**. — sollen
する べきである

Wollen wir Kuchen **bestellen**? ▶人を誘うときの表現 — wollen
（いっしょに）注文しましょうよ

— Ja, natürlich. Ich nehme einen Apfelstrudel.
ナテューアリヒ ～[4]にする

Möchtest du etwas **essen**? — möchte
エトヴァス 食べ たい ですか

SAMPLE

61 3 話法の助動詞の独立用法

Ich **muss** nach Hause [gehen]. ▶ nach Hause gehen 英 *go home*
本動詞は文脈から理解できるときは省略できる
müssen

Er **kann** ein wenig Deutsch. 本動詞として
アイン ヴェーニヒ 英 *a little*
können …⁴ができる

Ich **möchte** eine Tasse Kaffee. 本動詞として
英 *a cup of ~*
möchte …⁴がほしい

62 4 副文中の話法の助動詞

Sie **kann** nicht kommen, weil sie noch arbeiten **muss**. können / müssen
彼女は まだ 働か なければならないので

Wissen Sie, dass Mozart schon mit 5 Jahren komponieren **konnte**? können の過去
モーツァルトがすでに 5 歳のときに 作曲すること ができたこと
~⁴ を（知識として）知っている

▶ 副文では定形が文末に置かれるので、話法の助動詞が文末になる。

SAMPLE

63 Dialog

- ☐ Entschuldigen Sie!
- ☐ Entschuldigung!
- ☐ Tut mir leid.
- ☐ Entschuldigung, wie komme ich...?
- ☐ Entschuldigen Sie, wo ist...?

Übung 7 sieben

64 **1.** 話法の助動詞を用いて、書き換えましょう。

1. Ich fahre nächstes Jahr nach Deutschland. wollen
   Ich ..... nächstes Jahr nach Deutschland ..... .
2. Du trinkst keinen Alkohol. dürfen
   アルコホール
   Du ..... keinen Alkohol ..... . 禁止を表す
3. Ihr lernt fleißig Deutsch. müssen
   Ihr ..... fleißig Deutsch ..... .
4. Spricht er etwas Englisch? können
   ..... er etwas Englisch ..... ?
5. Ich spreche mit Herrn Müller. möchte
   英 *Mr.* 男性弱変化名詞の語尾（補足文法 11）
   Ich ..... mit Herrn Müller ..... .

65 **2.** 話法の助動詞を適当な形に変化させて、（　　）に入れましょう。

1. A: Entschuldigen Sie, hier (　　) Sie nicht rauchen. dürfen
   エントシュルディゲン
   B: Hier (　　) man nicht rauchen? Oh, Entschuldigung! dürfen
   エントシュレディグング
   A: In der Raucherzone dort (　　) man rauchen. können
   Raucher（喫煙者）+ Zone（地帯）
2. A: Ich (　　) Sie zum Essen einladen. möchte
   Haben Sie heute Abend Zeit?
   B: Tut mir leid, heute habe ich keine Zeit.
   英 *I'm sorry*
   Ich (　　) bis 8 (acht) Uhr arbeiten. müssen

66 **3.** ドイツ語に訳しましょう。

1. 彼は　彼の先生に[3]　一通の手紙を[4]　書か**なければならない**。
   er / sein Lehrer / ein Brief / schreiben / **müssen**
   └格変化　└格変化
2. この手紙を[4]　日本に　送り**たいのですが**。
   ich / dieser Brief / nach Japan / schicken / **möchte**
   └格変化

SAMPLE

Lektion 8
achte Lektion

acht **動詞の３基本形**

67 1 動詞の３基本形

動詞の**不定形**、**過去基本形**、**過去分詞**を**動詞の３基本形**という。
変化の形によって、①**規則動詞**と②**不規則動詞**に分けられる。

	不定形		過去基本形	過去分詞
①規則動詞	kaufen	買う	kauf**te**	**ge**kauf**t**
	lernen	学ぶ	lern**te**	**ge**lern**t**
	machen	する	mach**te**	**ge**mach**t**
②不規則動詞	sehen*	見る	**sah** (ザー)	**gesehen**
	fahren*	行く	**fuhr** (フーア)	**gefahren**
	sprechen*	話す	**sprach** (シュプラーハ)	**gesprochen** (ゲシュプロッヘン)
	kommen*	来る	**kam** (カーム)	**gekommen**
	bringen*	もって来る	**brachte** (ブラハテ)	**gebracht** (ゲブラハト)
重要動詞	**sein***	ある	**war** (ヴァール)	**gewesen** (ゲヴェーゼン)
	haben*	持っている	**hatte**	**gehabt**
	werden*	なる	**wurde**	**geworden**

＊は不規則動詞を示す

①完了形をつくる（☞35頁）
②受動文をつくる（☞49頁）
③形容詞・副詞として使われる（☞43頁）

SAMPLE

68 2 過去分詞に ge- がつかない動詞

第１音節にアクセントのない動詞は、過去分詞で **ge-** をつけない（ge- をつけると、弱音節が連続して口調が悪くなるため）。

① アクセントのない前つづり **be-, emp-, ent-, er-, ge-, ver-, zer-, miss-**（動詞と分離しない非分離前つづり、８つ）で始まる動詞。
→ ベエンペンテル・ゲフェルツェルミスと覚える

② **-ieren** で終わる動詞。（アクセントは **ie** にある）

不定形	過去基本形	過去分詞
besuchen	besuchte	besucht
verstehen*	verstand	verstanden
studieren	studierte	studiert

suchen	suchte	gesucht
stehen*	stand	gestanden

69 3 過去人称変化

過去基本形に次の**語尾**をつければ、過去の定形がつくられる。

ich, er/sie/es のところは**語尾をつけず過去基本形のまま**用いる。

不定形		kommen*	sein*	lernen	haben*	werden*
過去基本形		kam■	war■	lernte■	hatte■	wurde■
ich	-△	kam△	war△	lernte△	hatte△	wurde△
du	**-st**	kam**st**	war**st**	lernte**st**	hatte**st**	wurde**st**
er						
sie	-△	kam△	war△	lernte△	hatte△	wurde△
es						
wir	**-en**	kam**en**	war**en**	lernte**n**◆	hatte**n**◆	wurde**n**◆
ihr	**-t**	kam**t**	war**t**	lernte**t**	hatte**t**	wurde**t**
sie (Sie)	**-en**	kam**en**	war**en**	lernte**n**◆	hatte**n**◆	wurde**n**◆

同形

規則変化

◆過去基本形が -e で終わるもの（例：lernte, hatte, wurde）は -n だけをつける。

Er **lag** im Park und **las** Zeitung, da **kamen** seine Kinder.

liegen* 横たわっている　lesen* 読む　kommen* 来る

SAMPLE

過去形

Wir **lebten** in Deutschland.
Wir **fuhren** nach Deutschland.

過去の定形	過去基本形	不定形
lebte**n**	lebte	leben
fuhr**en**	fuhr	fahren*

辞書

①規則動詞の場合：語幹に -en をつけて不定形に戻す。

②不規則動詞の場合：過去基本形のままで「辞書」や「不規則動詞変化表」で調べることができる。

過去分詞

Wir haben in Deutschland **gelebt**.
Wir sind nach Deutschland **gefahren**.

過去分詞	不定形
gelebt	leben
gefahren	fahren*

①規則動詞の場合：語幹に -en をつけて不定形に戻す。

②不規則動詞の場合：過去分詞のままで「辞書」や「不規則動詞変化表」で調べることができる。

70 **1.** ３基本形の表を完成させましょう。

	不定形	意味	過去基本形	過去分詞
1.	.....	(　　)	machte	.....
2.	spielen	(　　)	.....	.....
3.	.....	(　　)	.....	gegessen
4.	.....	(　　)	bestellte	.....
5.	fotografieren	(　　)	.....	.....

71 **2.** 不定形を過去人称変化させましょう。

1. Du bist nicht mehr fleißig. Früher ..... du so fleißig! sein
2. Früher ..... meine Frau nicht Deutsch sprechen, können
   aber jetzt kann sie gut Deutsch sprechen.
3. Seine Kinder ..... krank, aber jetzt sind sie wieder gesund. werden
   （0 の位置）　（⇔ krank）
4. Gestern ..... ich keine Zeit, aber heute habe ich Zeit. haben

72 **3.** 動詞を抜き出し、その過去基本形と不定形を書き、文全体を日本語に訳しましょう。

A : Warum waren Sie gestern nicht im Unterricht?

B : Ich hatte Fieber und konnte leider nicht kommen.

73 **4.** ドイツ語に訳しましょう。

どこに　君は　きのう　**いた**の？　— 私は　上野の博物館に　**いました**。
im Museum in Ueno

過去形と現在完了形

・過去形は、過去の事柄を現在と切り離して「物語る」ときに用いる。過去において、いくつか同時に、あるいは相次いで起こった一連の事柄を逐次述べる時称で、歴史的記述、小説、物語に好んで用いられる。
・現在完了形（→ L.9）は、ある事柄が過去に起きたことを現在の立場から「報告する」ときに用いる。主に日常会話で用いられる。しかし、両者には英語におけるほど明確な区別はない。

SAMPLE

neun 現在完了形

74 1 現在完了形

現在完了形は **haben または sein の現在人称変化形と本動詞の過去分詞**とを組み合わせてつくる。英語と違う点は、完了の助動詞として haben 以外に sein をとる動詞があることと、**過去分詞が文末**に置かれることである。

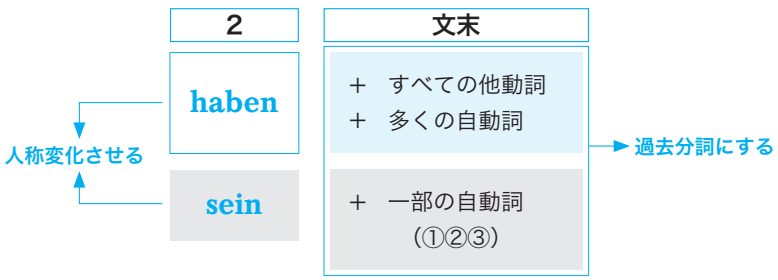
1	2 完了の助動詞	3	文末 本動詞の過去分詞
Ich	**habe** haben	meinem Sohn ein Wörterbuch	**gekauft**. kaufen（…⁴ を買う）の過去分詞
Ich	**bin** sein	gestern in die Stadt ゲスターン	**gefahren**. fahren*（行く）の過去分詞

日常会話で過去のことを述べる場合、現在完了形を用いることが多いが、haben - **hatte**, sein - **war**, 話法の助動詞（☞ 29 頁参照）などは過去形を用いることが多い。

75 2 haben か sein か

大多数の動詞は **haben を完了の助動詞**とする。
sein を完了の助動詞とするのは、**自動詞**のうち次の３つに限られる。

①**場所の移動を**表す自動詞
gehen - **gegangen**（行く） fahren - **gefahren**（乗り物で）行く kommen - **gekommen**（来る） など
②**状態の変化**を表す自動詞
werden - **geworden**（～になる） sterben - **gestorben**（死ぬ） aufstehen - **aufgestanden**（分離動詞（L.10）起きる） など
③上記以外
sein - **gewesen** bleiben - **geblieben** など



４格の目的語をともなう動詞を**他動詞**、ともなわない動詞を**自動詞**という。
完了の助動詞として haben をとるか、sein をとるかは辞書で調べることができる。

☞ 辞書の引き方参照。

SAMPLE

76 3 用例

Ich **habe** ihm eine CD[4] **gekauft**. Denn morgen ist sein Geburtstag.
└0 の位置
kaufen（買う）- kaufte - gekauft

Hast du schon zu Abend **gegessen**?
— Nein, noch nicht.
essen*（食べる）- aß - gegessen
►zu Abend essen（夕食をとる）

Was **haben** Sie gestern **gemacht**? — Ich **bin** zu Hause **geblieben**.
bleiben*（留まる）- blieb - geblieben

77 4 副文中の完了形

副文では定形は文末に置かれるので、完了の助動詞が文末になる。

Ich habe kein Geld mehr, weil ich gestern ein Buch[4] **gekauft habe**.
私は きのう 本を 買った ので
kaufen（買う）- kaufte - gekauft

完了の助動詞として haben をとるか、sein をとるか迷ったとき（←自動詞の場合）には必ず辞書を見て確かめる。ちなみに**他動詞（4格をとる動詞）はすべて haben をとる。**

辞書

arbeiten 自 [完了 haben] 働く
自動詞　haben が完了の助動詞

bleiben* 自 [完了 sein] とどまる
自動詞　sein が完了の助動詞

Gestern **habe** ich fleißig **gearbeitet**.
きのう私は熱心に働いた。

Gestern **bin** ich zu Hause **geblieben**.
きのう私は家にいた。

SAMPLE

78 序数→「〜番目の」 序数は形容詞の一種なので、格変化語尾がつく。数字で示すときは . をつける。

1 **erst**	6. sechs**t**	11. elf**t**
2. zwei**t**	7. **siebt**	12. zwölf**t**
3. **dritt**	8. **acht**	13. dreizehn**t**
4. vier**t**	9. neun**t**	20. zwanzig**st**
5. fünf**t**	10. zehn**t**	22. zweiundzwanzig**st**

1〜19　基数＋**t**
ただし、erst, dritt, siebt, acht

20以上　基数＋**st**
例　zwanzig**st**, hundert**st**

am 3. (**dritt**en) August 1987 (neunzehnhundertsiebenundachtzig)
►日付は序数で表す　ノインツェーン・フンダート・ズィーベン・ウント・アハツィヒ

den 26. (**sechsundzwanzigst**en) Februar 2028 (zweitausendachtundzwanzig)
►日付の定冠詞（am, den）が男性になっているのは、序数の後に Tag（*m.* 日）が省略されているからである。

79 **1.** 現在完了形の文を完成させましょう。

1. Am Sonntag _____ ich mit ihr Tennis[4] _____. spielen
2. Ich _____ gerade zu Mittag _____. essen*
   ▶ zu Mittag essen
3. Kolumbus _____ Amerika _____. entdécken
4. Wir _____ gestern ins Konzert _____. gehen*
5. Lena _____ vor 5 Tagen nach Japan _____. kommen*
   └ e 型の複数形
6. Wir _____ 7 Jahre lang in München _____. wohnen

80 **2.** 日本語に訳しましょう。

1. A: Was hast du gestern gemacht?
   B: Am Vormittag bin ich zur Uni gefahren. Nach dem Unterricht bin ich mit meiner Freundin ins Konzert gegangen.
2. A: Wie war die Reise nach Österreich?
   B: Sie war sehr schön. In Wien habe ich viel gesehen und viel fotografiert.

▶ 過去形と現在完了形が混在している。

ge- のつかない過去分詞

81 **3.** 現在完了形を使って、ドイツ語に訳しましょう。

1. 今日のお昼に　私は　学生食堂で　**食事をしました**。
   heute Mittag（文頭）/ ich / in / die Mensa / essen*（食事をする）/ haben
   主語が移動しない場合、3 格か 4 格か　格変化　過去分詞に

2. きのう　彼女は　一日中　自宅に　**いた**。
   gestern（文頭）/ sie / den ganzen Tag / zu Hause / bleiben*（ずっといる）/ sein
   過去分詞に

82 **Dialog**

☐ Was ist das?	— Das ist ein Buch.
☐ Gibt es hier eine Toilette?	— Dort!
☐ Wie heißen Sie?	— Ich heiße Kenji Sato.
☐ Wo wohnen Sie?	— Ich wohne in Tokyo.
☐ Wohin fahren Sie?	— Ich fahre nach Berlin.
☐ Woher kommen Sie?	— Ich komme aus Japan.
☐ Was sind Sie von Beruf?	— Ich bin Lehrer. / Ich bin Lehrerin.
☐ Wann kommen Sie?	— Ich komme am Montag.

SAMPLE

Lektion 10
zehnte Lektion

zehn 分離動詞

83 1 分離動詞

分離の前つづりを持つ動詞を**分離動詞**という。分離動詞は主文で定形として用いられるとき分離し、**前つづりは文末**に置かれる。分離の前つづりはアクセントを持つ。

分離の前つづり　分離線　基礎動詞

an|kommen　　vor|haben　　auf|stehen

1	2 基礎動詞	3	文末 分離の前つづり	
Er	**kommt**	heute in Berlin	**an**.	an|kommen
Morgen	**habe**	ich einen Ausflug	**vor**.	vor|haben
Wann	**stehen**	Sie	**auf**?	auf|stehen
Stehen	Sie	um sieben Uhr	**auf**?	

▶ 分離の前つづりは本来独立した語で、動詞と熟語的に結びついて分離動詞を構成している。
▶ 動詞と密接に結びつく語（分離の前つづり）は文末に置かれる。

84 2 分離動詞の３基本形と zu 不定詞

不定形	過去基本形	過去分詞	zu 不定詞
auf**machen**	**machte** ... auf	auf**gemacht**	auf**zu**machen
auf**stehen***	**stand** ... auf	auf**gestanden**	auf**zu**stehen

85 3 前つづりが分離しないで一語で書かれる場合

副文中では分離しない

Er weiß, dass du immer um fünf Uhr **aufstehst**. auf|stehen
wissen　君が　いつも　5時に　起きる　ということ

Gestern sind wir um sieben Uhr **aufgestanden**.
きのう　私たちは　7時に　起きた

必ず前つづりをつけて引く。　辞書

Er **teilt** ihr eine Neuigkeit **mit**. mit|teilen を引く
Der Zug **fährt** pünktlich um zehn Uhr **ab**. ab|fahren を引く
副

SAMPLE

86 **1.** 分離動詞を使って、現在形の文を完成させましょう。

1. Ich _____ dich[4] heute Abend _____. an|rufen
2. Der Lehrer _____ das Fenster _____. auf|machen
   Er _____ das Fenster wieder _____. zu|machen
3. Ich _____ immer um sieben Uhr _____. auf|stehen
4. Der Unterricht _____ um neun Uhr _____. an|fangen
5. Wir _____ Sie zum Essen _____. ein|laden

87 **2.** 分離動詞を抜き出し、不定形を書きましょう。

1. A: Wann fährt der Zug von Mainz ab?
   B: Er fährt um 15:04 Uhr ab. ▸15:04 Uhr fünfzehn Uhr vier
   A: Und um wie viel Uhr (何時に) kommt der Zug in Frankfurt an?
   B: Er kommt um 15:46 Uhr an. ▸15:46 Uhr fünfzehn Uhr sechsundvierzig

2. A: Was hast du am Wochenende vor?
   B: Ich weiß es noch nicht. Ich stehe gegen (ごろ) Mittag auf.
   A: In Yokohama gibt es am Abend ein Rockkonzert.
   Hast du Lust mitzukommen?
   B: Ja, gerne! Wann findet das Konzert statt?
   A: Es beginnt um 19 (neunzehn) Uhr.
   B: Gehen wir zusammen!

SAMPLE

88 **数詞 3**

100	[ein] hundert		
1 000（千）	[ein] tausend	100 000（10万）	[ein] hundert|tausend
10 000（1万）	zehn|tausend	1 000 000（100万）	eine Million（女性名詞）

▸英語同様、「万」にあたる単位はない

1987［年号］ neunzehn|hundert|sieben|und|achtzig 1900 と 87 とに分けて言い表す

2029［年号］ zwei|tausend|neun|und|zwanzig

Szene 4（64 頁）参照

Lektion 11
elfte Lektion

elf

分詞・zu 不定詞

89 1 分詞

動詞と形容詞の二つの性質を分かち持つ品詞のことである。

① 現在分詞

現在分詞は**不定形に -d** をつけてつくり、能動で継続を表す（「～している…」、「～しながら」）。

Sie sah das Gesicht des schlafen**den** Kindes[2] an. 「～している…」 形容詞語尾 弱 *n* 2 | an|sehen じっと見る | schlafen 眠る

Das Mädchen antwortete lächeln**d**. 「～しながら」 | lächeln ほほえむ

Sie ist reizen**d**. 完全に形容詞化した現在分詞に限り、述語的に用いることができる | reizen 刺激する

② 過去分詞

過去分詞のつくり方は 32 頁参照。他動詞の過去分詞は受動の完了（「～された…」、「～されて」）を、自動詞の過去分詞は能動の完了（「～した…」、「～して」）を表す。

Er isst ein hart **gekocht*es*** Ei. 固ゆで卵を 混 *n* 4 | kochen ゆでる 他

Sie erinnert sich oft an die **vergangen*en*** Jahre. 弱 *pl* 4 | vergehen* 過ぎ去る 自

90 2 zu 不定詞

動詞の基本形である**不定形に zu** をつけた形を **zu 不定詞**という。

① 主語 「～することは」 1 格の先行主語 es を用いる。

Es ist schön, dich[4] bald **zu** sehen. 君にまもなく会うこと

述語 「～すること（である）」

Ihr Traum ist Pianisitin **zu** werden. ピアニストになること

② 抽象名詞の付加語 「～することの□」「～するという□」「～する□」

Hast du Lust, mit mir zum Schloss Belvedere **zu** gehen? — Ja, gern.
私とベルヴェデーレ宮殿に行くこと

③ 4 格 「～することを」

Wir empfehlen Ihnen[3], nach Europa **zu** reisen. ヨーロッパへ旅行すること

empfehlen …[3] に…[4] を勧める

SAMPLE

④ zu 不定詞句は一つの名詞と考えられるので、これに前置詞をつけることができる。その際、ohne（〜なしに）、statt（〜のかわりに）、um（〜のために、を目的として）とだけ結合する。

Er will nach Berlin fahren, **ohne** Deutsch **zu** lernen.

Sie ist ins Café gegangen, **statt** zur Uni **zu** gehen.

Ich lerne jetzt Deutsch, **um** in Deutschland **zu** arbeiten.

⑤ es が前置詞と結びつくときは da ＋前置詞の形になる（前置詞が母音で始まるときは dar）。da[r]（それ）が後続する zu 不定詞句などを受ける場合。

Sie musste wegen der Corona-Pandemie **da**rauf verzichten,
└コロナ禍
in Deutschland **zu** studieren.　ドイツの大学に留学すること

auf ...[4] verzichten …[4] を断念する、あきらめる

SAMPLE

91 Dialog

☐ Kann ich Ihnen[3] helfen? 英 *Can I help you?*　受付、接客の際に、用件を尋ねる表現。

☐ Einen Moment[4], bitte! 英 *Just a moment, please.*

☐ Ja, genau.　その通りです（同意を示す表現）

☐ Entschuldigung, können Sie das[4] nochmal sagen?

すみませんが、もう一度言っていただけますか？（相手の言うことがよく聞き取れなかったときに、聞き返す表現）

☐ Natürlich　もちろん。英 *of course*

☞ Szene 3（63 頁）参照

Übung 11

92 **1.** 日本語に訳しましょう。

1. Sie ging weinend nach Hause zurück.
2. Darf man im Kino rauchen?
   └「人は」「人々は」という意味だが、man 自体を訳さないことが多い

   — Nein, Rauchen ist im Kino verboten.
3. Es ist gesund, früh aufzustehen.
   └分離動詞
4. Wir hatten leider keine Zeit, in Berlin Museen[4] zu besuchen.
   └Museum の複数形

93 **2.** （　　）に適切な語を入れましょう。

1. Ich fahre nach Deutschland, （　　）Musik zu studieren.
   └ために
2. （　　）zu arbeiten, geht er ins Kino.
   └かわりに　└定形第 2 位
3. （　　）zu frühstücken, ist mein Mann zur Arbeit gegangen.
   └なしに、をせずに

94 **3.** ドイツ語に訳しましょう。

1. その女性は　**歌いながら**　ダンスをする。
   die Frau / singen / tanzen
2. 彼女は　**私にあいさつをせずに**　通り過ぎる。
   sie / ohne mich zu begrüßen / vorbei|gehen

SAMPLE

95 **Dialog**

- ☐ **Wie spät** ist es? — Es ist neun Uhr.
- ☐ **Wie alt** sind Sie? — Ich bin achtzehn Jahre alt.
- ☐ **Was** kostet das? — Das kostet fünf Euro.
- ☐ **Wie lange** bleiben Sie? — Drei Tage.
- ☐ **Wie viel**e Kinder haben Sie? — Zwei Kinder.
- ☐ **Wann** sind Sie geboren? — Ich bin am 14. Mai 2011 geboren.
  zweitausendelf
  vierzehnten

Lektion 12

zwölfte Lektion

zwölf **形容詞**

96 1 形容詞の用法

① 述語的用法（無変化）	Er ist **fleißig**.	彼は勤勉である。
② 付加語的用法（変化語尾をとる）	Er ist ein **fleißiger** Schüler.	彼は勤勉な生徒である。
③ 副詞的用法（無変化）	Er lernt **fleißig** Deutsch.	彼は勤勉にドイツ語を勉強する。

辞書には形容詞の意味が記載

97 2 形容詞の変化

形容詞の**付加語的用法の語尾**のつけ方には３つのタイプがある。

① 形容詞■＋名詞　無冠詞の場合、形容詞が性・数・格を表示する　強変化

	濃い コーヒー *m*		新鮮な ミルク *f*		冷たい 水 *n*		古い 家 *pl*	
	stark		frisch		kalt		alt	
1	stark**er**	Kaffee	frisch**e**	Milch	kalt**es**	Wasser	alt**e**	Häuser
2	stark**en**	Kaffee**s**	frisch**er**	Milch	kalt**en**	Wasser**s**	alt**er**	Häuser
3	stark**em**	Kaffee	frisch**er**	Milch	kalt**em**	Wasser	alt**en**	Häuser**n**
4	stark**en**	Kaffee	frisch**e**	Milch	kalt**es**	Wasser	alt**e**	Häuser

Er trinkt **schwarzen** Kaffee.　schwarz

Ich höre gern **klassische** Musik.　klassisch

このタイプは不可算名詞（物質名詞や抽象名詞）を修飾する場合が多い。

② 定冠詞類（**der, dieser** 等）＋形容詞■＋名詞　弱変化

定冠詞類が名詞の性・数・格をよく示すので、形容詞には -e または -en の語尾がつく。

	背の高い 男性 *m*			やさしい 女性 *f*		
	groß			nett		
1	der	groß**e**	Mann	die	nett**e**	Frau
2	des	groß**en**	Mann**es**	der	nett**en**	Frau
3	dem	groß**en**	Mann	der	nett**en**	Frau
4	den	groß**en**	Mann	die	nett**e**	Frau

	小さな 子ども *n*			貧しい 人々 *pl*		
	klein			arm		
1	das	klein**e**	Kind	die	arm**en**	Leute
2	des	klein**en**	Kind**es**	der	arm**en**	Leute
3	dem	klein**en**	Kind	den	arm**en**	Leute**n**
4	das	klein**e**	Kind	die	arm**en**	Leute

Heute essen wir in diesem **neuen** Restaurant.　neu

弱 *n* 3

SAMPLE

③ 不定冠詞類 (ein, mein, Ihr 等)+ 形容詞■ + 名詞　混合変化

*m*1, *n*1, *n*4 では、形容詞が格を表示して強変化。それ以外は弱変化。

	年とった父 *m* alt			若い母 *f* jung		
1	ein△	alt**er**	Vater	eine	jung**e**	Mutter
2	eines	alt**en**	Vater**s**	einer	jung**en**	Mutter
3	einem	alt**en**	Vater	einer	jung**en**	Mutter
4	einen	alt**en**	Vater	eine	jung**e**	Mutter

	よい子ども *n* gut			私のよい子どもたち *pl* gut		
1	ein△	gut**es**	Kind	meine	gut**en**	Kinder
2	eines	gut**en**	Kind**es**	meiner	gut**en**	Kinder
3	einem	gut**en**	Kind	meinen	gut**en**	Kinder**n**
4	ein△	gut**es**	Kind	meine	gut**en**	Kinder

Sie ist eine sportlich**e** Frau mit[+3] kurz**en** Haaren.　sportlich / kurz
（混 *f* 1／強 *pl* 3／→ e 型の複数形）

Ich wünsche Ihnen einen schön**en** Aufenthalt.　schön
（混 *m* 4）

98 3 形容詞の比較変化

比較級は原級に -er を、最高級は原級に -[e]st をつけてつくる。
1 音節の形容詞には比較級、最高級でウムラウトするものが多い。

		美しい	ゆっくり	年とった	良い	好んで	多い
原級	–	schön	langsam	alt	gut	gern	viel
比較級	–**er**	schön**er**	langsam**er**	ält**er**	**besser**	**lieber**	**mehr**
最高級	–**st**	schön**st**	langsam**st**	ält**est**	**best**	**liebst**	**meist**

❶ 原級、比較級、最高級の述語的用法

① 原級の述語的用法

A ist so — wie B　AはBと同様に～である

Anna ist **so** alt **wie** Hans.　alt

SAMPLE

② 比較級の述語的用法

A ist —er als B　AはBよりも〜である

Anna ist **kleiner als** Hans.　klein

③ 最高級の述語的用法は 2 種類

1 **der / die / das —ste / am —sten**　Aは同類の中で一番〜である

Er ist **der fleißigste** in der Klasse.
Er ist in der Klasse **am fleißigsten**.　fleißig

2 **am —sten**　Aは一番〜である（一定条件下で、〜の場合に）

Jeder Student ist vor der Prüfung **am fleißigsten**.

❷ 比較級、最高級の付加語的用法

A: Wir haben eine sehr **große** Wohnung.　groß
B: Ich habe aber eine **größere** Wohnung als Ihr.
A: Nein, wir haben bestimmt die **größte** Wohnung.

❸ 比較級、最高級の副詞的用法　-er / am -sten

A: Ich laufe schnell. Du läufst **schneller** als ich.　副 schnell（速く）
B: Aber **am schnellsten** läuft er.

SAMPLE

辞書

Ich trinke **süßen** Apfelsaft, und sie trinkt **kühle** Milch.
süßen や kühle で辞書を引いても出ていない。
語尾 -en, -e を除いた süß, kühl で引く。

名詞の 4 格の副詞的用法

letzte Woche^4　先週
nächste Woche^4　来週
den ganzen Tag^4　一日中
letztes Jahr^4　去年
nächstes Jahr^4　来年
die ganze Nacht　一晩中

99 **1.** 下線部に格語尾を入れましょう。動詞の不定形、意味、用法を調べましょう。

1. Ich trinke gern deutsch____ Bier. 強変化
2. Der streng____ Lehrer lobt den fleißig____ Schüler. 弱変化
3. Herr und Frau Schmidt wohnen in der groß____ Wohnung. 弱変化
4. Sie kauft ein neu____ Auto. 混合変化
5. Haben Sie eine gut____ Idee? 混合変化
6. Ich schreibe meiner alt____ Mutter einen lang____ Brief. 混合変化

100 **2.** 形容詞を抜き出し、全体を日本語に訳しましょう。

1. Die deutschen Hotels sind sauber.
   Alle Zimmer haben kaltes und warmes Wasser.
   （Zimmer：複数形・無語尾型）
2. Die deutschen Universitäten haben eine lange Geschichte.
   Die Universität Heidelberg ist die älteste in Deutschland.
   （Universität を省略）
3. Ich kaufe Brot lieber beim Bäcker als im Supermarkt.
   （lieber：原級 gern（好んで、〜するのが好き））

101 **3.** 文中の太字の形容詞の反意語を選びましょう。

1. Gestern war das Wetter **schön**, aber heute ist es _____.
2. Die Suppe ist **kalt**. Können Sie sie[4] mir bitte _____ machen?
   （…[4] を〜にする）
3. Der Pullover ist zu _____. Ich suche einen **billig**eren.
   （zu：ブローヴァー／英 *too* あまりに〜、〜すぎる；billig：混 *m* 4；eren：比較級語尾）

teuer　schlecht　warm

SAMPLE

建物の階数

日本	ドイツ	ドイツ語	…階に
3 階	2	der zweite Stock（2 番目の階）	im zweiten Stock
2 階	1	der erste Stock（1 番目の階）	im ersten Stock
1 階	0	Erdgeschoss	im Erdgeschoss
地階	-1	Untergeschoss	im Untergeschoss

☞ Szene 3（63 頁）参照

dreizehn 再帰動詞・es の用法

102 1 再帰代名詞と再帰動詞

主語と同一のものを表す代名詞を**再帰代名詞**という。
再帰代名詞と結びついて一つのまとまった意味を表す動詞を**再帰動詞**（再）という。

	ich	du	Sie	er/sie/es	wir	ihr	Sie	sie
3	**mir**	**dir**	**sich**	**sich**	**uns**	**euch**	**sich**	**sich**
4	**mich**	**dich**	**sich**	**sich**	**uns**	**euch**	**sich**	**sich**

① Sie setzt das Kind[4] auf die Bank. 他動詞 setzen（…[4] をすわらせる）

② Sie **setzt sich** auch auf die Bank. 再帰動詞 sich[4] setzen（自分がすわる）
すわる（←自分をすわらせる）

Sie sitzen auf der Bank. 自動詞 sitzen（すわっている）

①では、主語（Sie）の動作が他者（das Kind）に向けられており、他動詞として用いられている。②では、主語の動作が主語自身に向けられ、再帰動詞として主語が「自分自身（sich）をすわらせる」という形をとり、日本語では「すわる」という自動詞のような意味になる。

▶ sich は 4 格の再帰代名詞で、主語が ich なら mich、du なら dich のように、主語に合わせて形が変わる。

103 2 非人称の主語 es の用法

天候、時間、感情、感覚、明暗、天意を表す文の主語

regnen（雨が降る）のような動詞は、その現象を引き起こす具体的な主体（人や物）が存在しない。しかし、ドイツ語では文の形式を整えるために主語が必要であるため、形だけの主語として es を添える。これを非人称主語の es という。

Es regnet. Du musst einen Schirm mitnehmen. regnen, 天候・自然現象の es

Wie spät ist **es** jetzt? — **Es** ist 12 Uhr. 時刻の es

Wie geht **es** Ihnen[3]? — Danke, **es** geht mir[3] gut. Und Ihnen[3]? 熟語的に

In Japan gibt **es** oft Erdbeben[4]. es gibt +4 格
Erde（大地）+ beben（震える）

再帰代名詞は「自分（自身）に」「自分（自身）を」を表しているが、日本語に訳さなくてもよい場合が多い。

SAMPLE

104 **1.** 下線部に再帰代名詞を入れて、日本語に訳しましょう。

1. Wir **freuen** ..... auf die Reise nach Europa.
   比較 freuen 他 …⁴ を喜ばせる
2. Ich **interessiere** ..... für klassische Musik.
   Ich höre gern Bach und Mozart. 比較 interessieren 他 …⁴ に興味を起こさせる
3. Die Erde **dreht** ..... um die Sonne.
   英 *earth*
   比較 drehen 他 …⁴ を回す、回転させる

105 **2.** 非人称の **es** に注意して日本語に訳しましょう。

1. Auf dem Boden ist viel Schnee, denn **es** hat die ganze Nacht geschneit.
   強 *pl* 4
   「一晩中」4 格の副詞的用法
2. Wie lange dauert **es** von hier bis zum Schloss Schönbrunn?
   英 *how long*
   von A bis B（A から B まで）
   シェーンブルン宮殿
   – Etwa 15 (fünfzehn) Minuten.
3. In diesem schönen Fluss gibt **es** viele Fische.
   強 *pl* 4

106 **3.** ドイツ語に訳しましょう。

この町には　たくさんの教会が　ある。
in dieser Stadt / viele Kirchen / es gibt
強 *pl* 4　第 2 位

Sie freut sich über das Geschenk.
Ich freue mich über das Geschenk.
← sich

再帰動詞は前置詞といっしょに熟語的に用いられることが多い。

辞書

freuen [frɔ́yən] ❶ 他 〔…⁴ を〕喜ばせる、うれしがらせる
❷ 再 (**sich**) 喜ぶ、喜んでいる（**über**⁺⁴ …[のこと]を）
楽しむ、楽しんでいる（**an**⁺³ …[のこと]を）
[期待して]楽しみにする（**auf**⁺⁴ …[のこと]を）楽しみに待つ

Tipp!

sich⁴ freuen, sich⁴ setzen などを「自分自身を喜ばす」「自分自身を座らせる」のように２語からなる語と考えずに、１語だと思って「喜ぶ」「座る」のように覚える。再帰代名詞は３人称および Sie の場合は、３格、４格とも sich だが、１人称、du/ihr は人称代名詞と同じである。

SAMPLE

Lektion 14

vierzehnte Lektion

vierzehn 受動

107 1 動作受動

動作の**受動**は、**助動詞 werden と本動詞の過去分詞（文末）**でつくり、「〜られる」「〜される」という意味を表す。

1	**werden** 2 受動の助動詞	3	loben（ほめる）の過去分詞 文末 本動詞の過去分詞
Der Schüler	**wird**	von dem Lehrer	**gelobt**.

108 2 他動詞の受動

現在	Ich	**werde**	von der Mutter	**geliebt**. └lieben の過去分詞	lieben
過去	Du	**wurdest**		**geliebt**.	
現在完了	Er	**ist** └完了の助動詞 sein		**geliebt worden**. └受動の助動詞 werden の過去分詞	

109 3 状態受動

動作の結果としての状態を表すときには、**sein と他動詞の過去分詞（文末）**でつくり、「〜されている」という意味を表す。

Die Tür **ist geöffnet**. (← weil jemand[1] die Tür[4] geöffnet hat.)　öffnen 開ける

Das Restaurant **ist** seit zwei Tagen **geschlossen**.　schließen* 閉じる

SAMPLE

110 その他の werden の用法　①本動詞　②未来の助動詞

① Ich **werde** Arzt.　私は医者になる。

② Für dich **werde** ich alles **tun**.　君のためなら私は何でもしますよ。（1人称・確約）

② Du **wirst** jetzt deine Schularbeit **machen**.　君はいま宿題をやるんだよ。（2人称・要求）

② Er **wird** krank **sein**.　彼は病気であろう。（3人称・推量）

werden の過去分詞は2種類。① geworden（…になった）② worden（…られた、された）

111 **1.** 日本語に訳しましょう。

1. Was wird heute im Konzert gespielt?
   — Heute Abend wird die 9. (neunte) Sinfonie von Beethoven gespielt.
   （von：～の　Beethoven：ベートホーフェン）
2. Ich werde oft von ihr zum Abendessen eingeladen.
3. Die Berliner Mauer wurde 1961 gebaut.
   （Berliner：地名 + er「～の」）
4. Dieser Roman wurde von Goethe geschrieben.

neunzehnhundert|einundsechzig
1900　　1 と 60
「1900」と「61」とに分けて言い表す。

112 **2.** 空欄に受動の助動詞を入れましょう。

1. Die Bibliothek _____ von 10 bis 19 Uhr geöffnet.
2. Die Bibliothek _____ um 10 Uhr geöffnet und um 19 Uhr geschlossen.

113 **3.** ドイツ語に訳しましょう。

1. 山々は　雪に　**おおわれている**。
   die Berge / mit Schnee / **bedecken**（覆う）/ sein
   （bedecken：過去分詞に ge- をつけない）

2. オーストリアでは　ドイツ語が　**話される**。
   in Österreich（文頭）/ Deutsch / **sprechen***（話す）/ werden
   （Österreich：エスターライヒ　sprechen*：過去分詞に）

SAMPLE

114 **能動文と受動文**

能動：	1 格	3 格	4 格	schenken …[3] に…[4] を贈る
受動：	1 格	3 格	von + 3 格	
	Der Mann[1]	**schenkt**	der Frau	den Ring[4].
	Der Ring[1]	**wird**	der Frau	von dem Mann **geschenkt** .
		（受動の助動詞の定形）		（過去分詞）

fünfzehn 関係代名詞

115 1 定関係代名詞

定関係代名詞の性・数は先行詞と一致するが、格は関係文の中の役割によって決まる。また関係文は副文の一種であるから、定形は文末に置かれ、コンマで主文と区切られる。

…する［ところの］—　（—は先行詞）

先行詞の性	*m*	*f*	*n*	*pl*
1	, **der**	, **die**	, **das**	, **die**
2	, ***dessen***	, ***deren***	, ***dessen***	, ***deren***
3	, **dem**	, **der**	, **dem**	, ***denen***
4	, **den**	, **die**	, **das**	, **die**

関係文中の役割
先行詞の性

Der Mann, **den** Sie[1] morgen **besuchen**, ist mein Freund.　［*m*・4］
あなたが明日訪ねる［ところの］

Das ist die CD, **die** ich in Wien gekauft **habe**.　［*f*・4］
私がウィーンで買った［ところの］

Wer ist die Frau, mit[3] **der** du jetzt gesprochen **hast**?　［*f*・3］
君が今話していた［ところの］

Es gibt noch so viele Sehenswürdigkeiten, **die** ich besuchen **möchte**.　［*pl*・4］
まだ とても 多くの　私が 訪れ　たいと思っている［ところの］

116 2 不定関係代名詞

不定関係代名詞は特定の人または特定のものを指さない関係代名詞で、**wer**（…する人）、**was**（…する物、事）という意味である。

1	**wer**	**was**
2	**wessen**	—
3	**wem**	—
4	**wen**	**was**

Wer nicht **arbeitet**, (der[1]) soll nicht essen.
働かない人　は

Was er **sagt**, (das[4]) glaubt man gern.
彼が言うこと　を

wer, **was** は先行詞の働きを兼ねるから、ふつう先行詞をとらない。しかし **was** は先行詞をとる場合がある。**alles**, **etwas**, **nichts** などがそれである。

Das ist **alles**, **was** ich für dich tun kann.　（否定表現の一種）
私が君のためになしうること

SAMPLE

117 **1.** 下線部に関係代名詞を入れましょう。

1. Das ist der Mann, _____ ich sehr liebe.
2. Die Ärztin, _____ ich herzlich danke, ist sehr tüchtig.
3. Die Frau, _____ lange krank war, ist ganz gesund geworden.
4. Ich habe Freunde, _____ aus Deutschland kommen.
5. Das Gebäude, _____ Dach rot ist, ist mein Haus.

［その建物の[2]］屋根が

118 **2.** 日本語に訳しましょう。

1. Das Haus, in dem sie wohnt, ist sehr groß.
2. Wen man liebt, dem vergibt man alles.
3. Was Sie sagen, [das] ist richtig.
4. Das ist alles, was ich gesehen habe.

119 **3.** ドイツ語に訳しましょう。

1. A: Ich suche ein Buch.

   B: これが **君が探している** 本ですか？

   Ist das das Buch, _____? (du / suchen)

2. **私たちが先週見た** 映画はとてもおもしろかったです。

   Der Film war sehr interessant. が主文。Den Film haben wir letzte Woche gesehen. を関係文に。
   haben は定形を文末に置く。

SAMPLE

Lektion 16

sechzehnte Lektion

sechzehn **接続法**

1 直説法と接続法

接続法は動詞に接続詞 dass（「…と」「…ということ」）の機能を持たせた表現方法である。「～と言う」「～と願う」「～ということを要求・欲する」などの主文に接続することを想定しているので、**接続法**といわれる。それらの主文は、脳裏にだけあって、述べられないこともある。

ある事柄を1「願望・要求として」2「引用・伝言として」また3「非現実のこととして」言い表す場合、ある事柄を「事実として」言い表す直説法とは異なる動詞の形を用いる。

接続法の用法には、**要求話法、間接話法、非現実話法**の３つがある。

用法	背後に隠れている［主文］	訳
1 要求話法	第１式と［私／われわれは願う・欲する］	**であれ** **でありますように**
2 間接話法	第１式（第２式）と［言っている・思う］	
3 非現実話法	第２式と［仮定する］	**もし　なら**
	第２式と［推定・結論する］	**だろうに**

接続法の基本形には、第１式と第２式の２種類があり、人称語尾は第１式、第２式ともに共通である。

接続法の人称変化

ich	**—e**	wir	**—en**
du	**—est**	ihr	**—et**
er/sie/es	**—e**	sie/Sie	**—en**

直説法（現在形）の人称変化（→ L.1）

ich	**—e**	wir	**—en**
du	**—st**	ihr	**—t**
er/sie/es	**—t**	sie/Sie	**—en**

SAMPLE

120 2 接続法第１式

不定形の語幹に接続法の人称語尾をつけてつくる。規則的に変化する。例外は sein だけである。

不定形	lernen	haben	sein
不定形の語幹	lern■	hab■	sei■
ich	lern**e**	hab**e**	sei
du	lern**est**	hab**est**	sei**[e]st**
er/sie/es	lern**e**	hab**e**	sei
wir	lern**en**	hab**en**	sei**en**
ihr	lern**et**	hab**et**	sei**et**
sie/Sie	lern**en**	hab**en**	sei**en**

3人称単数の形がよく用いられる

接続法第１式の用法 ― 要求話法、間接話法

Seien Sie ruhig! 静かにしてください！ ←静かに**であれと**（私[たち]は願う） sein である

Lang **lebe** der König! 国王万歳！←国王が長く**生きますようにと**（私[たち]は願う） leben 生きる

ある発言の要旨を話し手の立場から要約して伝える言い方を**間接話法**という。

Herr Sato hat mir gesagt, er **lerne** Deutsch. lernen 学ぶ
佐藤さんは　私に 言った　ドイツ語を**学んでいる**　と

121 3 接続法第２式

過去基本形に接続法の人称語尾をつけてつくる。不規則動詞では幹母音 a, o, u, が ä, ö, ü に変音する。若干の例外（sollen – sollte, wollen – wollte など）がある。

もともと過去基本形が -e で終わるものは e を二重につけることはしない。
hatte – h**ä**tte, wurde – w**ü**rde

不定形	sein*	haben*	werden*	können*
過去基本形	war■	hatte■	wurde■	konnte■
ich	wäre △	hätte△	würde△	könnte△
du	wäre**st**	hätte**st**	würde**st**	könnte**st**
er/sie/es	wäre △	hätte△	würde△	könnte△
wir	wäre**n**	hätte**n**	würde**n**	könnte**n**
ihr	wär[e]**t**	hätte**t**	würde**t**	könnte**t**
sie/Sie	wäre**n**	hätte**n**	würde**n**	könnte**n**

SAMPLE

☞ 規則動詞は直説法過去の人称変化（33 頁）と同形であるが、口語では助動詞 würde とともに用い、würde .... 不定形の形になることが多い。

接続法第２式の用法 ― 非現実話法、婉曲話法

非現実話法

Wenn ich mehr Zeit **hätte**, **würde** ich länger in Wien bleiben. haben 持っている
もし　より多くの時間を **持っていれば**　私はより長くウィーンに**滞在するでしょうに**。 werden であろう
（現実には時間がないので、滞在することができない）

婉曲話法

Ich **hätte** gern ein Stück Sachertorte[4]. haben 持っている
ザッハートルテがほしいのですが。

▶ Ich hättte gern ...[4] 「…[4] がほしいのですが」とお店で注文するときの表現。

Könnten Sie mir helfen? können できる
お手伝いしていただけますか。

▶ können を könnten にすることで「もしできましたら…」「もしさしつかえなければ…」「無理かもしれませんが…」というような遠回しのニュアンスが加わる。

122 4 接続法の過去

接続法の過去は **haben/sein の接続法 + 過去分詞**の形で表される。

Er sagt, er **sei** dort **gewesen**. sein いる
彼は言う そこに**いたと**

Wenn ich Zeit **gehabt hätte**, **wäre** ich ins Kino **gegangen**.
ひまが **あったなら** 私は 映画へ **行ったのだが**。
（ひまがなかったので、映画に行けなかった）

haben 持っている gehen 行く

Übung 16

SAMPLE

123 1. 日本語に訳しましょう。

1. Gott helfe mir!
2. Ich habe eine Bitte an Sie. / Ich hätte（もし許されるなら） eine Bitte an Sie.
   （あなたに）
3. Du solltest gleich zum Arzt gehen.
4. Wenn das Auto billiger（比較級） wäre, würde ich es kaufen.
5. Wenn ich Zeit und Geld gehabt hätte, wäre ich nach Deutschland geflogen.
6. Der Außenminister XYZ sagte heute, er reise im Februar nach München und nehme dort an der Sicherheitskonferenz teil.

reisen 旅行する（ここでは「赴く、向かう」） an ...[3] teil|nehmen …[3] に参加する、出席する
Sicherheitskonferenz = Sicherheit（安全）+ s + Konferenz（会議）安全保障会議 reise / nehme ... teil 動詞の形に注意。接続法第 1 式を使って、記者が、引用部分の外相の言葉を、地の文に相当する自分の言葉（Der Außenminister XYZ sagte heute）と区別して伝えている（用法は、間接話法）。

124 2. 与えられた単語を並べ替えて、文を完成させましょう。

1. Wenn ich viel Geld hätte, (ich / sie[4] / heiraten / könnte).
2. Kaori sagte, (sie / noch / keinen Freund / habe).

ドイツ語を読んでみよう Richard Wagner

リヒャルト・ヴァーグナー（Richard Wagner, 1813-1883）はドイツの作曲家で、それまでのオペラの伝統を破って、音楽・劇・文学を総合する新しい楽劇を始めた。バイロイト（Bayreuth）に祝祭劇場（Richard-Wagner-Festspielhaus）を建て、自作の上演をした。主要作品には『タンホイザー』『トリスタンとイゾルテ』『ニーベルングの指輪』などがある。また、バイロイトは、ドイツ南部、バイエルン州北部に位置し、ここで開催されるバイロイト音楽祭が有名で、世界中のオペラファンから愛されている。

学習した文法項目に注意しながら読んでみましょう。

125

Richard Wagner ist ein bekannter deutscher Komponist. 述語（1 格）
（形容詞付加語的用法（混 *m*1））

Er **hat** viele Opern **geschrieben**. 現在完了形

Er **hat** in Bayreuth ein eigenes Opernhaus **gebaut**, 現在完了形
（混 *n*4）

um seine Musik **aufzuführen**.
um + zu 不定詞句（☞ 41 頁参照）

Dieses Haus heißt Richard-Wagner-Festspielhaus.

Dort **werden** seine Opern heute noch jedes Jahr **aufgeführt**. 受動形

sein*
schreiben*
bauen
auf|führen*
heißen*
auf|führen*

Festspielhaus → Fest（祝祭）+Spiel（劇）+Haus（家、建物〔劇場〕）中性名詞　jedes Jahr 英 *every year* 名詞 4 格の副詞的用法。　heute noch 今日なお

SAMPLE



Richard Wagner



Richard-Wagner-Festspielhaus

ドイツ語を読んでみよう Sissi

エリーザベト（Elisabeth, 1837-1898）は、若くしてオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ（Franz Joseph, 1830-1916）と結婚し、オーストリア皇后となった。Sissi「シシィ」の愛称で知られ、その美貌によって人々を魅了した彼女の人生は、今もなお映画やテレビシリーズ、ミュージカルを通じて語り継がれている。夫のフランツ・ヨーゼフ 1 世は、1867 年にオーストリア＝ハンガリー帝国を成立させ、ハンガリー国王を兼任した。1955 年に公開されたオーストリア映画『プリンセス・シシィ』(„Sissi“) は、エリーザベトの青春時代を描いている。美しいアルプスの山岳地帯や華麗なウィーンの宮廷が見所の一つ。オーストリア生まれで、当時十代後半の主演のロミー・シュナイダーは、若きエリーザベトを伸びやかに瑞々しく演じている。彼女はこの作品で人気を得てドイツ語圏を代表する国際的スターになっていく。

学習した文法項目に注意しながら読んでみましょう。

126

Elisabeth war eine berühmt**e** Kaiserin von Österreich.
（形容詞付加語的用法（混 *f* 1））

Man nannte sie Sissi.

Sie **wurde** in München **geboren**. （受動形）
（過去）

Mit 16 (sechzehn) Jahren **hat** sie Kaiser Franz Joseph **geheiratet**.
（4 格目的語）（現在完了形）

Viele Menschen bewundern sie wegen ihres Charms.
（強 *pl* 1）（所有冠詞 ihr）

Deshalb gibt es heute viele Filme über ihr Leben.
（4 格目的語）

sein*
nennen*
gebären*
heiraten
bewundern
geben*

nennen ...^{4} を…^{4} と呼ぶ　man 人は、人々は　mit ～の時に
heiraten …^{4} と結婚する　es gibt + ...^{4} …^{4} がある
über ～について（テーマを表す前置詞）

「彼女はミュンヒェンに生まれた」のドイツ語の表現の違いを考えてみよう。

生きている人　Sie **ist** in München **geboren**.
故人　Sie **wurde** in München **geboren**.



SAMPLE

ドイツ語を読んでみよう **Metropolis**

『メトロポリス』は、20 世紀の映画史を代表する巨匠の一人フリッツ・ラング（Fritz Lang, 1890-1976）のサイレント映画。ラングはウィーン生まれで、ドイツやアメリカで多くの作品を手掛けた。これらの作品はのちの SF、フィルム・ノワール、サスペンス作品などに多大な影響を与えた。主要作品に『ドクトル・マブセ』『ニーベルンゲン』『メトロポリス』『M』などがある。

学習した文法項目に注意しながら読んでみましょう。

127

Fritz Lang ist ein berühmt*er* deutsch*er* Filmregisseur. （述語（1 格）／形容詞付加語的用法（混 *m*1））	sein*
Er **hat** viele Filme in Deutschland und in den USA **gemacht**. （現在完了形）	machen
Einer seiner bekannt*est**en*** Filme ist „Metropolis“ aus dem Jahr 1927. （口調の e／最上級／形容詞付加語的用法（混 *pl*2）／neunzehn**hundert**sieben**und**zwanzig）	sein*
Dieser Film ist heute sehr wichtig für die deutsche Filmgeschichte.	sein*
Er steht für das Deutschland der 1920er Jahre, （neunzehn**hundert**zwanzig**er**）	stehen*
die man auch die „Golden*en* Zwanziger“ nennt. （関係代名詞／関係文／弱変化語尾・*pl*4）	nennen*
Der Film spielt in einer Stadt der Zukunft.	spielen
Deshalb gilt er als ein früh*er* Science-Fiction-Film. （述語（1 格）／形容詞付加語的用法（混 *m*1））	gelten*
Außerdem zeigt der Film viele wichtige Ideen und Bilder,	zeigen
wie man sich die Zukunft vorgestellt **hat**. （間接疑問文（副文））	vor|stellen
Der Film zeigt eine Zukunft mit groß*en* sozial*en* Unterschieden, （形容詞付加的用法（強 *pl* 3））	zeigen
wie wir sie aus unserer heutigen Gesellschaft **kennen**. （間接疑問文（副文））	kennen*

Filmregisseur → Film（映画）＋ Regisseur［レジセーア］（監督） USA［ウー・エス・アー］複数名詞で定冠詞と用いる einer 不定代名詞。後に複数 2 格または von ＋ 複数 3 格を伴って「〜の一つ、〜の一人」㊥ *one of ...* „Metropolis“［メトローポリス］『メトロポリス』（映画の題名） aus dem Jahr 1927 1927 年にできた für 〜にとって Filmgeschichte → Film ＋ Geschichte für ...^{4} stehen …^{4} を代表する、象徴する 1920er 基数＋-er「〜年代の」の表す形容詞（格語尾をつけない） in ...^{3} spielen 〜は …^{3} が舞台である als ...^{1} gelten …^{1} と見なされている

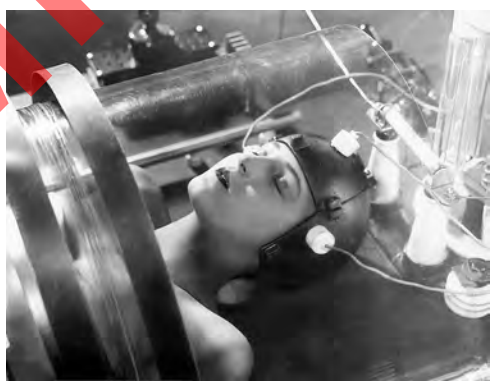
SAMPLE



Fritz Lang CC BY-SA 3.0

SAMPLE









Szenen aus „Metropolis“

Szene 0 (null) Kenjis Reisepläne[1]

話法の助動詞／過去形／再帰表現／zu 不定詞句

128 ケンジは夏休みにベルリンとウィーンを巡ります。歴史と文化を感じながら、日本に留学していたイムケとの再会も楽しみにしています。

Kenji fährt in den Sommerferien[2] nach Berlin und Wien.

Er bleibt ein paar[3] Tage in Berlin. Dort **möchte** er die Berliner Mauer **sehen** und zum Brandenburger Tor **gehen**. Er **will** auch Museen[4] und den Reichstag **besuchen**. Danach fliegt er nach Wien. Dort trifft er Imke wieder. Sie **war** letztes Jahr[5] Austauschstudentin[6] an seiner Universität. Jetzt wohnt sie wieder in Wien.

Dort **möchte** sie ihm ein typisches[7] Wiener Café **zeigen**[8]. Sie **will** ihn auch in einen gemütlichen[9] Heurigen **mitnehmen**.

Kenji **freut sich**[10] da**rauf**[11], die Geschichte und Kultur der beiden Städte[12] **zu** erleben.

SAMPLE

1 Reisepläne ← Reiseplan の複数形。Reise（旅行）＋ Plan（計画） 2 Sommerferien ← Sommer（夏）＋ Ferien（休暇） 3 ein paar 英 *a few* 4 Museen ＜ Museum の複数形 5 letztes Jahr 英 *last year* 6 Austauschstudentin ← Austausch（交換）＋ Studentin（女子大学生） 7 typisch 典型的な（形容詞の格変化語尾に注意） 8 zeigen …[3] に …[4] を示す、教える、案内する 9 gemütlich 居心地のいい（形容詞の格変化語尾に注意） 10 sich auf …[4] freuen …[4] を楽しみにしている 11 darauf ← dar（後続の zu 不定詞句を受ける）＋ auf 12 Städte ＜ Stadt の複数形

文　法

- **人名の 2 格**　名前の最後に -s をつけます。修飾する名詞の前に置きます。
  Kenjis Reisepläne　ケンジの旅行計画　　Imkes Idee　イムケのアイデア
- **地名 +er（地名の）**　Berliner　ベルリンの　　die Berliner Mauer　ベルリンの壁
  Wiener　ウィーンの　　Wiener Café　ウィーンのカフェ

ホイリゲ（Heurige）

その年に収穫されたブドウから造られた新酒ワインをホイリゲ（Heurige）といいます。またそのホイリゲを提供するお店もホイリゲ。heurig（本年の）という形容詞を名詞化したものです。定冠詞がつくと、形容詞の弱変化の語尾をつけ、1 格 der Heurige 2 格 des Heurigen 3 格 dem Heurigen 4 格 den Heurigen と格変化します。不定冠詞の場合、形容詞の混合変化の語尾をつけ、1 格 ein Heuriger 2 格 eines Heurigen 3 格 einem Heurigen 4 格 einen Heurigen となります。

Szene 1 (eins) Im Flugzeug

分離動詞／話法の助動詞（独立用法）／再帰表現

129 ベルリンからウィーンへ向かう機内で、ケンジはドリンクを注文します。

Kenji sitzt im Flugzeug und **denkt** an seine Zeit in Berlin **zurück**[1]. Bald ist er in Wien und **freut sich** schon **auf** das Wiedersehen[2] mit Imke.

F: Flugbegleiterin[3]　K: Kenji

F: Guten Tag! Was möchten Sie trinken? *Good afternoon! What would you like to drink?*

K: Ich **möchte** einen Kaffee, bitte.

F: Mit[4] Milch und Zucker?

K: Nein, bitte ohne Milch und Zucker.

F: Alles klar, ein Kaffee schwarz. Ich bringe ihn gleich.

K: Vielen Dank.

F: Gern geschehen!

SAMPLE

1 an ...[4] zurück|denken …[4] を回想する　2 Wiedersehen ← wieder（再び）＋ sehen（会う）wieder|sehen の名詞化、中性名詞。　3 Flugbegleiterin ← Flug（飛行）＋ Begleiterin（同行者［女性形］）㊥ *flight attendant*　4 mit ～といっしょに、～で、～つきの、～を入れた⇔ ohne ～なしで

freuen の用法

freuen 他（人を[4]）喜ばせる、楽しませる
Die Nachricht[1] **freut** mich[4].　その知らせは[1]私を[4]喜ばせる
sich freuen 再（自分が）喜ぶ、楽しむ
結びつく前置詞によって意味が変わります。例文で確認しましょう。
über ...[4] **sich freuen**（現在・過去のことを[4]）うれしく思う、喜ぶ
Ich freue mich **über** das Geschenk.　私はその贈り物をうれしく思う。
auf ...[4] **sich freuen**（未来のことを[4]）楽しみにする、楽しみに待つ
Ich freue mich **auf** das Wiedersehen mit Imke.　私はイムケとの再会を楽しみにしている。

表　現

Alles klar わかりました㊥ *all right*

Szene 2 (zwei) Am Flughafen

130 ケンジは空港で荷物を受け取るために、手荷物受け取り所を探しています。

K: Kenji　M: Mitarbeiterin[1]

K: Entschuldigung, wo ist die Gepäckausgabe?

M: Die Gepäckausgabe[2]? Gehen Sie immer geradeaus und dann nach links.

K: Danke schön!

M: Gern geschehen!

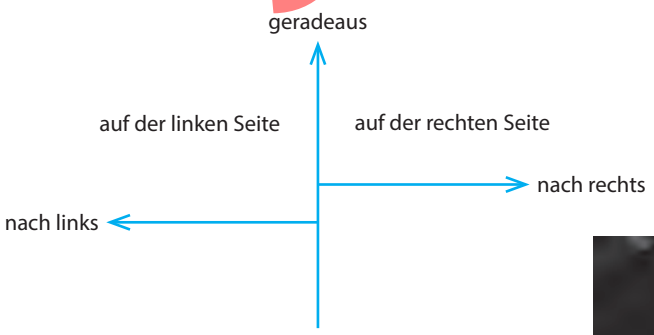
1 Mitarbeiterin ← mit（共に）+Arbeiterin（「働く人」［女性形］）㊎ *staff*　ここでは *airport staff*
2 Gepäckausgabe ← Gepäck（手荷物）＋ Ausgabe（引き渡し）㊎ *baggage claim*

道を尋ねる表現

Wo ist ...[1]? …[1] はどこですか？ / **Wie komme ich zu ...[3]?** …[3] にはどのように行きますか？
知らない人に道を尋ねる場合には、Entschuldigung を添えて、Entschuldigung, wo ist ...[1]? のように言いましょう。

道案内で使われる表現

geradeaus まっすぐに　nach links 左に　nach rechts 右に　nach oben 上に　nach unten 下に　an der Ecke 角に　am Ampel 信号で　an der Kreuzung 交差点で　auf der rechten Seite 右側に　auf der linken Seite 左側に





SAMPLE

Szene 3 (drei) Im Hotel einchecken

話法の助動詞／現在完了形／分離動詞／非人称の es

131 ケンジはウィーンのホテルに着いて、チェックインをします。

R: Rezeption　K: Kenji

R: Guten Abend. **Kann** ich Ihnen **helfen**?

K: Guten Abend. Ich **möchte einchecken**[1]. Mein Name ist Sato, Kenji Sato. Hier ist meine Buchungsbestätigung[2].

R: Einen Moment, bitte, ich überprüfe[3] Ihre Reservierung … Ja, ich **habe** sie **gefunden**. Sie **haben** ein Einzelzimmer für fünf Nächte[4] **gebucht**, richtig?

K: Ja, genau.

R: Gut. Bitte **füllen** Sie dieses Formular **aus**. Und hier bitte Ihre Unterschrift.

K: Ja, okay.

R: Vielen Dank. Ihr Zimmer ist im zweiten Stock[5], Zimmernummer 263 (zweihundertdreiundsechzig). Hier ist Ihre Schlüsselkarte[6].

K: Danke. Wann **gibt es** Frühstück[7]?

R: Das Frühstück ist von 7 (sieben) bis 10 (zehn) Uhr. Der Frühstücksraum[8] ist im Erdgeschoss.

K: Entschuldigung, **können** Sie das nochmal **sagen**?

R: Natürlich. Das Frühstück ist von 7 Uhr bis 10 Uhr im Erdgeschoss.

K: Okay, danke. **Gibt es** im Zimmer WLAN?

R: Ja. Hier ist das WLAN-Passwort.

K: Danke.

R: Bitte **checken** Sie am Abreisetag[9] bis 11 (elf) Uhr **aus**. Ich wünsche Ihnen einen schönen Aufenthalt!

SAMPLE

1 ein|checken 英 *check in* ⇔ aus|checken　2 Buchungsbestätigung ← Buchung（予約）+ s + Bestätigung（確認証）　3 überprüfen［ユーバープリューフェン］…[4] を調べる 英 *check*　4 für fünf Nächte 5 泊のための（Nächte < Nacht の複数形）　5 im zweiten Stock 3 階に　6 Schlüsselkarte ← Schlüssel（*key*）+ Karte（*card*）　7 es gibt...[4] …[4] が（食事に）出る　8 Frühstücksraum ← Frühstück（朝食）+ s + Raum（*room*）　9 Abreisetag ← Abreise（旅立ち）+ Tag（日）

Dialog（41 頁）、建物の階数（46 頁）参照

Szene 4 (vier) Kenji fährt mit der U-Bahn zum Schloss Schönbrunn.

分離動詞／非人称の es

132 ケンジはウィーン西駅にいます。シェーンブルン宮殿への行き方がわかりません。通行人に尋ねます。

K: Kenji　P: Passantin

K: Entschuldigung, wie komme ich zum Schloss Schönbrunn?

P: Zum Schloss Schönbrunn? Da **steigen** Sie zuerst hier in die U6[1] (sechs) **ein**. Dann **steigen** Sie an der Station Längenfeldgasse in die U4[1] (vier) **um**.

K: Und wo **steige** ich **aus**?

P: An der Station Schönbrunn.

K: Und wie lange dauert **es**[2]?

P: Etwa 15 (fünfzehn) Minuten.

K: Vielen Dank!

1 U6 / U4 地下鉄の路線番号　2 es dauert [時間]　（時間が）かかる





シェーンブルン宮殿

SAMPLE

Szene 5 (fünf) Am Ticketschalter der Oper

接続法第 2 式（婉曲話法）／非人称の es ／受動文

133 ケンジはオペラ座でオペラのチケットを買います。

K: Kenji　M: Mitarbeiterin

K: Guten Tag! Ich **hätte gern** eine Karte für *Die Zauberflöte*[1].

M: Grüß Gott! Es tut mir leid, aber die Karten für heute[2] sind leider ausverkauft[3].

K: Das ist schade. **Gibt es** noch Karten für morgen?

M: Ja, morgen Abend **wird** *Die Zauberflöte* auch **aufgeführt**[4]. Und wir haben noch Karten. Eine Karte kostet 45 (fünfundvierzig) Euro.

K: Gut, ich nehme die Karte.

M: Hier ist Ihre Karte. Viel Spaß bei der Oper[5]!

K: Vielen Dank!

1 *Die Zauberflöte* [ツァオバーフレーテ]『魔笛（まてき）』（モーツァルトの歌劇）2 Karten für heute 今日のチケット　3 ausverkauft 売り切れた　4 auf|führen …[4] を上演する　5 bei der Oper オペラの際に

表　現

Ich hätte gern ...[4] …[4] が欲しいのですが。
Grüß Gott! [グリュース ゴット]　南ドイツ、オーストリアで使われる挨拶。
Das ist schade.　（がっかりした気持ちを表して）それは残念です。
Ich nehme ...[4] …[4] にします、…[4] をもらいます
Viel Spaß! 楽しんでね！（[Ich wünsche Ihnen[3]] viel Spaß[4].）

Tut mir leid の使い方

① 相手の意向に沿えないときに「申し訳ありませんが」の意味で使います。
Es tut mir leid, aber leider habe ich jetzt eine Verabredung.
申し訳ないけれど、あいにくこれから約束があるんだ。

② 相手の気の毒な状況への同情を表して、「お気の毒に」の意味で使います。
A: Ich habe Kopfschmerzen.　頭が痛いんだ。
B: Oh nein, das tut mir leid! Gute Besserung!　あら、それはお気の毒に！お大事にね！

SAMPLE

Szene 6 (sechs) Verabredung

zu 不定詞句／現在完了形／話法の助動詞／再帰表現／副文／過去形／分離動詞／非人称の es

ケンジはメールを送って、イムケに会う約束をします。

134

Betreff: Treffen in Wien

Hallo Imke,
wie geht es dir? Ich bin jetzt in Wien. **Es** ist schön, dich bald **zu** treffen[1]!
Gestern hatte ich einen tollen Tag!
Am Vormittag war ich im Schloss Schönbrunn. Es war wunderschön. Die Räume und der Garten **haben** mich **beeindruckt**.
Heute Abend **habe** ich *Die Zauberflöte* **gesehen**. Die Musik war fantastisch, und die Aufführung **hat** mir sehr **gefallen**[2].
Wollen wir uns morgen vor dem Stephansdom **treffen**? **Kannst** du mich danach in ein typisches Wiener Café **mitnehmen**? Und hast du Lust, auch zum Schloss Belvedere **zu** gehen? Ich **habe gehört**, **es gibt** dort viele Bilder von Klimt. Ich **möchte** besonders gern *Der Kuss* **sehen**, weißt du?
Ich **freue mich** sehr **auf** unser Treffen!

Viele Grüße
Kenji

SAMPLE

1 treffen …[4] に会う　2 gefallen A[3] は B[1] が気に入る

文　法

Wollen wir ...?「(われわれは) …しようよ、…しましょう、…しませんか（人を誘う、人に提案する表現)」。uns はここでは相互代名詞で、「(私たちは) 互いに～し合う」という意味。

135

Betreff: Re: Treffen in Wien

Hallo Kenji,
danke für deine Mail. Ich **freue mich** auch sehr dar**auf**!
Wie schön, **dass** du schon im Schloss Schönbrunn **warst**! Die prächtigen Räume und der Garten sind wirklich beeindruckend[1], oder? Und du **hast** dir *Die Zauberflöte* **angesehen**[2]?! Super! Ich war letztens auch in der Aufführung. Ich liebe diese Musik!
Ich **schlage vor**, wir treffen uns morgen um 11 Uhr vor dem Stephansdom. Danach **können** wir in ein typisches Wiener Café **gehen**, und dann später zum Schloss Belvedere.
Ich habe auch eine Idee für übermorgen: **Wollen** wir nach Grinzing **fahren**? Wir **können** das Beethoven-Haus **besuchen**. Er komponierte dort die Symphonie „Pastorale". Außerdem denke ich, dass **es** eine super Idee ist, in einem Heurigen in Grinzing ein Glas Wein[3] **zu** trinken. Wie findest du meinen Plan[4]?

Viele Grüße
Imke

SAMPLE

1 beeindruckend 印象的な（beeindrucken の現在分詞の述語的用法） 2 sich[3] ...[4] an|sehen …[4] を（じっくり）見る 3 ein Glas 〜 一杯の〜、〜一杯（Glas は単位を表す） 4 Wie findest du ...[4]? …[4] をどう思うか（相手に感想を聞くときの表現）


シュテファン寺院


グスタフ・クリムト《接吻》

Szene 7 (sieben) In einem Wiener Café

話法の助動詞／接続法第 2 式（婉曲表現）／分離動詞

136 二人はカフェに行き、トルテを注文します。

I: Imke　K: Kenji　Ke: Kellnerin

K: Guten Tag!

Ke: Grüß Gott! Herzlich willkommen!

I: Haben Sie eine Speisekarte?

Ke: Natürlich, einen Moment bitte.

（ウェイトレスがメニューを持ってくる）


メランジェ


アインシュペーナー

Ke: Was **möchten** Sie **trinken**?

I: Ich nehme eine Melange, bitte.

K: Und für mich bitte einen Einspänner.

Ke: Kommt sofort.

（飲み物が運ばれてくる）


アップルパイ

K: Danke schön! **Wollen** wir auch Kuchen **bestellen**?

I: Ja, natürlich. Ich nehme einen Apfelstrudel.

K: Und ich probiere die Sachertorte. Sie ist auch in Japan sehr bekannt.

I: Ja, das stimmt wohl. Es ist eine echte Wiener Spezialität[1]!

K: Dann[2] **hätte ich gern** ein Stück[3] Sachertorte, bitte.

Ke: Kommt sofort!

（トルテが運ばれてくる）


ザッハートルテ

K: Die Sachertorte und der Apfelstrudel **sehen** köstlich **aus**!

SAMPLE

1 Spezialität 名物　2 dann それなら　3 ein Stück ～ 一個の～、～一個

表　現

Herzlich willkommen! ようこそ！　いらっしゃいませ！

kommt sofort（ご注文のものは）すぐに来ます。

Ja, das stimmt wohl. うん、その通り、たしかにそうだね（相手の意見の内容に同意する表現）。

Szene 8 (acht) Im Heurigen in Grinzing

話法の助動詞／現在完了形／過去形／移動を表す動詞と 3・4 格支配の前置詞

137 二人はグリンツィングのホイリゲ（ワイン居酒屋）で、ワインと料理を注文します。

I: Imke　K: Kenji　Ke: Kellnerin

K: Guten Abend!

Ke: Grüß Gott! **Darf** ich Ihnen etwas **bringen**?

I: Ja, bitte. Ich nehme einen weißen Spritzer.

K: Für mich bitte ein Glas Weißwein.

Ke: Gerne. **Möchten** Sie auch etwas **essen**?

I: Ja, gerne. Was empfehlen Sie?

Ke: Heute haben wir Schnitzel, Bratkartoffeln und eine kalte Platte mit Käse und Schinken.

I: Ich nehme die kalte Platte, bitte.

K: Für mich bitte das Schnitzel mit Bratkartoffeln.

Ke: Sehr gut. Sonst noch etwas?

I: Nein, das ist alles. Danke.

（少し間をおいて、料理と飲み物が運ばれてくる）

Ke: Bitte sehr. Guten Appetit!

I: Zahlen bitte!

Ke: Natürlich, ich komme gleich. **Hat** es Ihnen **geschmeckt**[1]?

I & K: Ja, es **war** sehr lecker!

Ke: Das freut mich! Zusammen oder getrennt[2]?

K: Zusammen, bitte.

Ke: Das macht 37 Euro 40 (siebenunddreißig Euro vierzig).

K: (Kenji **legt** 40［vierzig］Euro **auf den Tisch**.) Das stimmt so.

Ke: Vielen Dank und einen schönen Abend!

I: Danke, Ihnen auch!

K: Tschüss!

SAMPLE

1 schmecken …[3] の口に合う　2 getrennt 別々に（trennen の過去分詞の副詞的用法）

表　現

Sonst noch etwas?（店員が客に向かって）ほかにご注文は？
Das ist alles. 以上です。
Guten Appetit! どうぞ、お召し上がりください！
Zahlen bitte! お勘定お願いします！
Hat es Ihnen[3] geschmeckt? あなた方の[3] お口に合いましたか？ schmecken の現在完了形。
[Zahlen Sie] Zusammen oder getrennt? お支払いはごいっしょですか、それとも別々にですか？
Das macht 37 Euro 40. 37 ユーロ 40 セントになります。
Das stimmt so. おつりは結構です。

SAMPLE

ホイリゲ（ワインの新酒を出す酒場）







Szene 9 (neun) Am Flughafen

分離動詞／現在完了形／非人称の es ／副文（関係文）／接続法第 2 式（非現実話法）／比較級／話法の助動詞／副文（従属の接続詞、間接疑問文）

138 ケンジが日本に帰国するので、空港にイムケが見送りに来ました。

I: Imke K: Kenji

I: Du **fliegst** schon **zurück**... Die Zeit **ist** so schnell **vergangen**.

K: Ich **hatte** eine wunderschöne Zeit in Wien. Und **es gibt** noch so viele Sehenswürdigkeiten[1], **die** ich **besuchen möchte**. Wenn ich mehr Zeit **hätte**, **würde** ich **gern länger** in Wien bleiben.

I: Im Mai besuche ich dich in Tokio. Aber du **musst** auch wieder nach Wien **kommen**!

K: Dann **sehen** wir uns in Japan **wieder**! Ich habe schon ein paar gute Ideen, **was** wir **unternehmen können**[2].

I: Schreib mir, **wenn** du **angekommen bist**, ja?

K: Natürlich, das mache ich.

I: Guten Flug!

K: Danke!

I: Tschüss!

K: Tschüss! Und bis Mai in Tokio! （ケンジは手を振り、搭乗口へ向かう）

SAMPLE

1 Sehenswürdigkeit 名所← sehen（見る）+s+würdig（〜する価値のある）+keit（接尾辞）
2 was wir unternehmen können 私たちが何をすることができるか（間接疑問文）

会話表現

Guten Flug! 快適な空の旅を！ Gute Reise! よい旅を！ とも言います。

Szene 10 (zehn) Meine Sommerreise

過去形／現在完了形／指示代名詞／接続法第 2 式（婉曲話法）／副文（従属の接続詞）

139 ケンジは帰国し、ドイツ語の先生に夏休みの報告をします。

L: Lehrerin　K: Kenji

L: Na, Kenji, wie **waren** deine Sommerferien? Was **hast** du **gemacht**?

K: Ich **bin** zuerst nach Berlin und dann[1] weiter nach Wien **gereist**.

L: Wie **war** deine Reise?

K: Sie **war** sehr schön. Ich **habe** viele Sehenswürdigkeiten **besucht**.

L: Das ist toll! Was **hast** du alles **gesehen**?

K: In Berlin **war** ich am Brandenburger Tor, **habe** das Pergamonmuseum **besichtigt** und auch die Berliner Mauer **gesehen**. Dort **habe** ich Currywurst **gegessen**. In Wien **habe** ich das Schloss Schönbrunn und die Wiener Staatsoper **besucht**. Am nächsten Tag **habe** ich mich mit Imke **getroffen**[2]. Kennen Sie sie noch?

L: Ja, natürlich. Sie **hat** doch letztes Jahr als Austauschstudentin Japanologie bei uns **studiert**, oder?

K: Ja, genau.

L: Sehr schön! Was **habt** ihr in Wien **gemacht**?

K: Wir **sind** zuerst in ein Café **gegangen** und am letzten Tag in einen Heurigen. Dort **haben** wir guten Wein **getrunken**. Natürlich **habe** ich auch Sachertorte **gegessen** – **die**[3] war wirklich lecker! Ich **habe** Ihnen als kleines Geschenk Mozartkugeln **mitgebracht**[4].

L: Vielen Dank! Das **wäre** wirklich nicht nötig **gewesen**. Es ist toll, **dass** du die Geschichte und Kultur der Städte **kennengelernt**[5] **hast**!

SAMPLE

1 zuerst ..., dann ... まず〜、それから〜（時間を表す副詞で、時間的な経過を表します）　2 sich mit ...[3] treffen 約束して…[3]に会う　3 die 指示代名詞。話題となるものを指して「あれは、それは」　4 mit|bringen …[3] に…[4] を持って来る、持参する　5 kennen|lernen …[4] を知るようになる、…[4] に接する

表　現

Was hast du alles gesehen? どんなものをいろいろ見たのか？

Das wäre wirklich nicht nötig gewesen そんなことは無用でしたのに。接続法第 2 式過去（接続法の過去は第 1 式、第 2 式ともに完了形で表現される）、婉曲話法。

ベルリン



①ブランデンブルク門



②博物館島



③ベルリンの壁



④カレーソーセージ

ヴィーン



⑤国立オペラ座



⑥カフェ・ムゼーウム

SAMPLE

⑥カフェ・ムゼーウム：画家のクリムトやシーレ、作家のロベルト・ムジール、建築家のオットー・ヴァーグナー、作曲家ブルックナー、マーラーが集っていた。

1

A 語幹が **-t, -d, -chn, -ffn** 等に終わる動詞は、発音しやすいように **du -*e*st, er -*e*t, ihr -*e*t** となる。

	arbeiten 働く	finden 見つける	öffnen 開ける
ich	arbeite	finde	öffne
du	**arbeit*e*st**	**find*e*st**	**öffn*e*st**
er/sie/es	**arbeit*e*t**	**find*e*t**	**öffn*e*t**
wir	arbeiten	finden	öffnen
ihr	**arbeit*e*t**	**find*e*t**	**öffn*e*t**
sie/Sie	arbeiten	finden	öffnen

antwort-en（～[3]に答える）
bad-en（入浴する）
find-en（～[4]を～と思う、見つける）
ordn-en（整理する）
schad-en（～[3]を傷つける）
zeichn-en（描く）

arbeit-en（働く）
begegn-en（～[3]に出会う）
heirat-en（～[4]と結婚する）
rechn-en（計算する）
send-en（放送する）

atm-en（呼吸する）
bitt-en（～[4]に～を頼む）
öffn-en（開ける）
red-en（語る）
wart-en（待つ）

B 語幹が［ス］［ツ］（**-s, -ss, -ß, -tz, -t, -z**）で終わる動詞は、**du -t** となる。

	reisen 旅する	küssen キスする	heißen ～という名前である	sitzen すわっている
ich	reise	küsse	heiße	sitze
du	reis***t***	küss***t***	heiß***t***	sitz***t***
er/sie/es	reist	küsst	heißt	sitzt
wir	reisen	küssen	heißen	sitzen
ihr	reist	küsst	heißt	sitzt
sie/Sie	reisen	küssen	heißen	sitzen

grüß-en（～[4]に挨拶する）
lös-en（解く）
reis-en（旅行する）
sitz-en（すわっている）

heiß-en（～という名である）
pass-en（～[3]に適する）
schließ-en（閉じる）
tanz-en（踊る）

küss-en（～[4]にキスする）
putz-en（きれいにする）
setz-en（座らせる）

SAMPLE

C 不定詞の語尾が **-en** ではなくて **-n** で終わる動詞

	ⓐ -eln lächeln ほほえむ	ⓑ -ern ändern 変更する	ⓒ tun tun 行う
ich	lächle	änd[e]re	tue
du	lächelst	änderst	tust
er/sie/es	lächelt	ändert	tut
wir	lächeln	ändern	tun
ihr	lächelt	ändert	tut
sie/Sie	lächeln	ändern	tun

ⓐ angel-n（釣りをする）
lächel-n（ほほえむ）
ⓑ änder-n（変更する）
verbesser-n（改良する）
ⓒ tu-n（する）
handel-n（行動する）
sammel-n（集める）
äußer-n（述べる）
wander-n（ハイキングをする）
klingel-n（ベルを鳴らす）
zweifel-n（疑う）
dauer-n（続く、かかる）

2

冠詞がつかない場合

① 不可算名詞（一定の形を持たず、個数として数えられない名詞）
Ich trinke **Tee**.

② 人名、職業、国籍を表す名詞が、sein（～である）、werden（～になる）等と結んで述語になるとき
Ich bin **Japaner**[1].　Er wird **Arzt**[1].　彼は医者になる。

③ 普通名詞が不特定の複数を表す場合
Haben Sie **Kinder**?

④ 動詞と一つの概念をなして熟語的に用いられる４格の名詞（分離動詞のような使われ方をするため）
Sie spielt sehr gut **Klavier**.　Klavier spielen　ピアノをひく

⑤ 学科名
Ich studiere **Jura**.

SAMPLE

3

A 否定冠詞 kein

不定冠詞つき名詞、無冠詞の名詞（不可算、複数名詞）を否定するとき、その名詞に否定冠詞 kein をつける。

① 不定冠詞つき名詞

Haben Sie einen Füller?
— Nein, ich habe keinen Füller.

② 不可算名詞

Haben Sie Zeit?
— Nein, ich habe keine Zeit.
Sie trinkt Wein.
Ich trinke keinen Wein.

③ 複数名詞

Haben Sie Kinder?
— Nein, ich habe keine Kinder.

B nicht の位置

全文否定の場合は nicht を文末に置く。

Er **kommt** heute nicht. 彼は今日来ません。

② ⓐ述語形容詞、ⓑ過去分詞、ⓒ不定形、ⓓ分離前つづり、ⓔ動詞と結びつきの強い語句など文末に置かれる要素がある場合にはその直前に **nicht** を置く。

部分否定の場合は否定される語の直前。

Er kommt nicht **heute**. 彼が来るのは、**今日**ではありません。

4

枠構造

ドイツ語の文章構成の大きな特徴の一つに、**枠構造**がある。一般的に叙述文では、定形が文の２番目の位置に置かれ、文の中心をなす。しかし、述部が複数の要素からなる場合には定形は第２位に置かれ、それと密接に結びついた要素（分離動詞の前つづり、不定詞、過去分詞、述語形容詞など）が文末にくる。こうして、文の第２位と末尾に置かれる要素によって一つの構造的な枠が形づくられ、その内側にそのほかの成分が収まることで文が構成される。これを**枠構造**という。副文（従属文）においても、従属の接続詞・関係代名詞・疑問代名詞を文頭、定形を文末に置いて枠構造をつくる。

SAMPLE

		2		(nicht の位置)	文末	
1)	Mein Vater	**kommt**	heute		**zurück.**	
2)	Ich	**kann**	ihr		**helfen.**	
3)	Sie	**wird**	am Sonntag		**kommen.**	
4)	Er	**hat**	das Buch		**gekauft.**	
5)	Du	**bist**			**krank.**	
6)	Morgen	**fahren**	wir		**nach Wien.**	
7)	Ich	**wohne**	jetzt		**in Wien.**	
8)	Ich	**fahre**			**Auto.**	
				(nicht の位置)	文末	副文の場合
9)	**Wenn**	mein Lehrer	heute		**kommt,**	

全文否定の場合、nicht は原則文末におかれるが、定形と枠構造をつくる成分があるときには、その直前に nicht をおく。

5

ja, nein, doch の使い分け

肯定で訊かれても、否定で訊かれても、否定で答えるならば **nein** を用いる。

Bist du **müde**?
君は疲れているか。

Ja, ich bin müde.
ええ、私は疲れている。

Nein, ich bin **nicht** müde.
いいえ、私は疲れていない。

否定で訊かれて、肯定で答えるときは **doch** を用いる。doch は強い打消し、反論を表す

Bist du nicht müde?
君は疲れていないの。

Doch, ich bin sehr müde.
いやいや、そんなことはない。私はとても疲れているよ。

Nein, ich bin **nicht** müde.
いや、私は疲れていない。

6

3格目的語と4格目的語の語順

4格目的語が名詞なのか、人称代名詞なのかに注目する。

① 4格が名詞の場合→ 4格の名詞の方が後ろ

Ich leihe meinem Freund[3] ein Buch[4].

Ich leihe ihm[3] ein Buch[4].

leihen …[3] に…[4] を貸す

② 4格が人称代名詞の場合→ 4格の人称代名詞の方が前

Ich leihe es[4] meinem Freund[3].

Ich leihe es[4] ihm[3].

SAMPLE

7

時―方法―場所の語順

主語が文頭にある場合、状況語は時―方法―場所の順に置く。強調や口調のために、この語順は変わることがよくある。

Ich fahre morgen（あす／時） mit dem Auto（自動車で／方法） nach Berlin.（ベルリンへ／場所）

8

形容詞の名詞化

形容詞は後に名詞を伴うことなく、付加語的用法と同じ格変化をして名詞的に用いることができる。名詞となるので頭文字を大文字にする。
男性・女性・複数の格変化をするとそれぞれの性質を持った「～な男性、～な女性、～な人々」を表し、中性の変化をすると、「～なもの・こと」を表す。

	m（男の）ドイツ人	*f*（女の）ドイツ人
1	Deutsch***er***	Deutsch***e***
2	Deutsch***en***	Deutsch***er***
3	Deutsch***em***	Deutsch***er***
4	Deutsch***en***	Deutsch***e***

	m（男の）ドイツ人	*f*（女の）ドイツ人	*pl* ドイツ人たち	*n* 良いこと、善
	deutsch	deutsch	deutsch	gut
1	der Deutsch***e***	die Deutsch***e***	die Deutsch***en***	das Gut***e***
2	des Deutsch***en***	der Deutsch***en***	der Deutsch***en***	des Gut***en***
3	dem Deutsch***en***	der Deutsch***en***	den Deutsch***en***	dem Gut***en***
4	den Deutsch***en***	die Deutsch***e***	die Deutsch***en***	das Gut***e***
				（何か）新しいもの
				neu
1	ein Deutsch***er***	eine Deutsch***e***	Deutsch***e***	[etwas] Neu***es***
2	eines Deutsch***en***	einer Deutsch***en***	Deutsch***er***	——
3	einem Deutsch***en***	einer Deutsch***en***	Deutsch***en***	[etwas] Neu***em***
4	einen Deutsch***en***	eine Deutsch***e***	Deutsch***e***	[etwas] Neu***es***

Er ist **Deutsch*er***. Sie ist auch **Deutsch*e***. 男性 女性　deutsch（ドイツ人の）
Steht etwas **Neu*es*** in der Zeitung ? 中性　neu（新しい）
— Nein, nichts **Besonder*es***. 中性　besonder（特別な）

◆国名を表す形容詞を中性名詞化すると、その国の国語を意味する名詞になる。
Ich übersetze den Roman aus dem **Deutsch*en*** ins **Japanisch*e***.　deutsch（ドイツの）
（←das Deutsche）（←das Japanische）　japanisch（日本の）

◆現在分詞、過去分詞も形容詞になるので、名詞化する。
der Reisend***e*** 男性　旅行者　reisen（旅行する）
der Angestellt***e*** 男性　会社員　anlstellen（…[4] を雇う）

SAMPLE

9

冠詞類のまとめ

①定冠詞の格変化

	男性	女性	中性	複数
1	der	die	das	die
2	des	der	des	der
3	dem	der	dem	den
4	den	die	das	die

②不定冠詞の格変化

	男性	女性	中性	複数
1	ein△	eine	ein△	—
2	eines	einer	eines	—
3	einem	einer	einem	—
4	einen	eine	ein△	—

③定冠詞類の格語尾

	男性	女性	中性	複数
1	-er	-e	-es	-e
2	-es	-er	-es	-er
3	-em	-er	-em	-en
4	-en	-e	-es	-e

④不定冠詞類の格語尾

	男性	女性	中性	複数
1	-△	-e	-△	-e
2	-es	-er	-es	-er
3	-em	-er	-em	-en
4	-en	-e	-△	-e

⑤定冠詞類の格変化

	男性	女性	中性	複数
1	dieser	diese	dieses	diese
2	dieses	dieser	dieses	dieser
3	diesem	dieser	diesem	diesen
4	diesen	diese	dieses	diese

⑥不定冠詞類の格変化

	男性	女性	中性	複数
1	mein△	meine	mein△	meine
2	meines	meiner	meines	meiner
3	meinem	meiner	meinem	meinen
4	meinen	meine	mein△	meine

⑦

dieser この　welcher どの　solcher そのような
aller すべての　jeder おのおのの

⑧所有冠詞

		単数	複数
1人称		mein 私の	unser 私たちの
2人称	親称	dein 君の	euer 君たちの
	敬称	Ihr あなたの	Ihr あなたがたの
3人称		sein 彼の、それの	ihr 彼らの、彼女らの、それらの
		ihr 彼女の、それの	
		sein それの	

単数	複数
ich → mein	wir → unser
du → dein	ihr → euer
sie → ihr	sie → ihr
er → sein	Sie → Ihr
es → sein	

SAMPLE

10

定冠詞のような強い変化

der や dieser などといっしょに用いる

①形容詞の強変化（形容詞■＋名詞）無冠詞

	男性	女性	中性	複数
1	-er	-e	-es	-e
2	-en	-er	-en	-er
3	-em	-er	-em	-en
4	-en	-e	-es	-e

定冠詞類の格語尾参照→ es

②形容詞の弱変化（定冠詞［類］＋形容詞■＋名詞）

	男性	女性	中性	複数
1	-e	-e	-e	-en
2	-en	-en	-en	-en
3	-en	-en	-en	-en
4	-en	-e	-e	-en

ein や mein などといっしょに用いる

③形容詞の混合変化（不定冠詞［類］＋形容詞■＋名詞）

	男性	女性	中性	複数
1	-er	-e	-es	-en
2	-en	-en	-en	-en
3	-en	-en	-en	-en
4	-en	-e	-es	-en

□の３か所が強変化。



▲ルターが新約聖書をドイツ語に(ins Deutsche)訳したヴァルトブルグ城の小部屋
ドイツ・アイゼナハ

11

男性弱変化名詞

単数１格以外、つまり単数２格から複数４格にいたるまでの７か所に -en または -n がつく。

◆ Mensch（人間）、Polizist（警察官）、Franzose（フランス人）など

単数	1	der	Student 学生	der	Junge 男の子	der	Herr 紳士
	2	des	Studenten	des	Jungen	des	Herrn
	3	dem	Studenten	dem	Jungen	dem	Herrn
	4	den	Studenten	den	Jungen	den	Herrn
複数	1	die	Studenten	die	Jungen	die	Herren
	2	der	Studenten	der	Jungen	der	Herren
	3	den	Studenten	den	Jungen	den	Herren
	4	die	Studenten	die	Jungen	die	Herren

Die Eltern des Junge**n**[2] danken dem Polizist**en**[3].

SAMPLE

12

過去完了

過去完了は、過去の事柄を述べている文のなかで、それより以前のことを言うときに使われ、hatte/war（完了の助動詞 haben または sein の過去人称変化形）と過去分詞とを組み合わせてつくる。たとえば、①「〜したときにはもう〜していた」②「〜した後で（〜してから）、〜した」といった文の下線部を過去完了にする。

① Als ich meinen Freund besuchte, **war** er schon **gestorben**.

私が友人を訪れた時にはもう彼は亡くなっていた。

► gestorben → sterben「死ぬ」の過去分詞。sein を完了の助動詞とする点に注意。

② Nachdem er **gegessen hatte**, machte er einen Mittagschlaf.

彼は食事をした後で、昼寝をした。

► gegessen → essen「食事をする」の過去分詞

13

複合名詞の性

２つ以上の名詞を複合してできた複合名詞の性、数（単数・複数）は、一番最後の名詞（基礎語）の名詞の性になる。

die Reise *f* 旅行 + **der** Plan *m* 計画 → **der** Reiseplan *m* 旅行計画

der Sommer *m* 夏 + **die** Ferien *pl* 休暇 → **die** Sommerferien *pl* 夏休み

die Wörter *pl* 単語 + **das** Buch *n* 本 → **das** Wörterbuch *n* 辞書

14

自動詞の受動

自動詞は本来受動形にはできないはずだが、動作を主眼とした表現では es を主語にして、つまり、動作の主体を具体的に考えない形で受動文が作られる。

Es **wird** heute Abend bei mir **getanzt**. tanzen 自

Heute Abend **wird** bei mir **getanzt**. es は文頭以外では省略される

今晩私のところでダンスパーティーがある。

参考 **Man tanzt** heute Abend bei mir.

Heute Abend **wird getrunken**. trinken 自

今晩飲み会がある。

In Deutschland **wird** rechts **gefahren**. fahren 自

ドイツでは右側走行である。

自動詞の受動を訳す際、「受け身」のように訳さない場合が多い。

SAMPLE

15

sein + zu 不定詞　受動の意味を表す表現

① Diese Frucht **ist** nicht zu essen.　このくだものは食べられない。←食べられ得ない

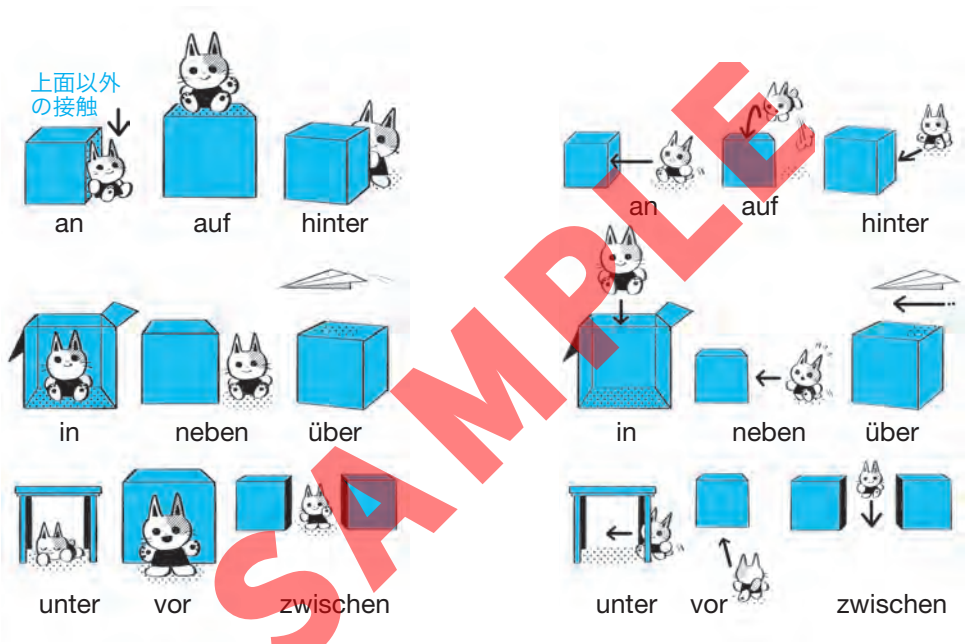
② Der Schüler **ist zu loben**.　その生徒はほめられるべきである。

①は können　②は sollen の意味を持つ。

16

3・4格支配の前置詞

3格（移動しない場合）「〜に、〜で」　4格（移動する場合）「〜へ」



SAMPLE

17

冠飾句

現在分詞、過去分詞が基礎になって、名詞の前に置かれた長い句を、名詞の前に冠する修飾句ということから冠飾句と呼ぶ。その分詞は形容詞の語尾をとる。英語にはない用法。

Der **im Park spielende** Junge ist mein Kind.　公園で遊んでいるその男の子は私の子供です。
弱 *m* 1

spielend は spielen（遊ぶ）の現在分詞

Das ist ein **aus dem Deutschen übersetztes** Buch.　それはドイツ語から翻訳された本です。
混 *n* 1

übersetzt は übersetzen（翻訳する）の過去分詞

auf|stehen や verstehen などの複合動詞は前つづりを除いた基礎動詞 stehen の項で調べる。

■過去人称語尾を入れる

	不定形	現在形	過去基本形	過去分詞
B	1 **beginnen** 始まる／始める	ich beginne du beginnst er beginnt	**begann**■	(ich habe) (er hat) **begonnen** └ge-をつけない
	2 **bieten** 提供する	ich biete du bietest er bietet	**bot**■	(ich habe) (er hat) **geboten**
	3 **bitten** ～⁴ に um…⁴ を頼む	ich bitte du bittest er bittet	**bat**■	(ich habe) (er hat) **gebeten**
	4 **bleiben** とどまる	ich bleibe du bleibst er bleibt	**blieb**■	(ich bin) (er ist) **geblieben**
	5 **brechen** 破る	ich breche du brichst er bricht	**brach**■	(ich habe) (er hat) **gebrochen**
	6 **bringen** 運ぶ／もっていく／連れていく／連れてくる	ich bringe du bringst er bringt	**brachte**■	(ich habe) (er hat) **gebracht**
D	7 **denken** 考える／～⁴ と思う	ich denke du denkst er denkt	**dachte**■	(ich habe) (er hat) **gedacht**
	8 **dürfen** ～⁴ をしてもよい	ich darf du darfst er darf	**durfte**■	(ich habe) (er hat) **gedurft**
	(話法の助動詞) ～してもよい			(ich habe) (er hat) 不定形 **dürfen**
E	9 **essen** 食べる／食事をする	ich esse du isst［イスト］ er isst［イスト］	**aß**■	(ich habe) (er hat) **gegessen**
F	10 **fahren** (乗り物で) 行く／(乗り物が) 走る	ich fahre du fährst［フェーアスト］ er fährt［フェーアト］	**fuhr**■	(ich bin) (er ist) **gefahren**
	11 **fallen** 落ちる	ich falle du fällst［フェルスト］ er fällt［フェルト］	**fiel**■	(ich bin) (er ist) **gefallen**
	12 **fangen** 捕える	ich fange du fängst［フェングスト］ er fängt［フェングト］	**fing**■	(ich habe) (er hat) **gefangen**
	13 **finden** 見つける／～⁴ を…と思う	ich finde du findest er findet	**fand**■	(ich habe) (er hat) **gefunden**
	14 **fliegen** (飛行機で) 行く／飛ぶ	ich fliege du fliegst er fliegt	**flog**■	(ich bin) (er ist) **geflogen**

SAMPLE

	不定形	現在形	過去基本形	過去分詞
G	15 **geben** 与える	ich gebe du gibst［ギープスト］ er gibt ［ギープト］	**gab**	(ich habe) (er hat) **gegeben**
	16 **gehen** 行く	ich gehe du gehst er geht	**ging**	(ich bin) (er ist) **gegangen**
H	17 **haben** 持っている	ich habe du **hast** er **hat**	**hatte**	(ich habe) (er hat) **gehabt**
	18 **halten** つかんでいる／保つ／止まる	ich halte du hältst［ヘルツト］ er hält ［ヘルト］	**hielt**	(ich habe) (er hat) **gehalten**
	19 **heißen** ～という名前である	ich heiße du heißt er heißt	**hieß**	(ich habe) (er hat) **geheißen**
	20 **helfen** ～ 3 を助ける	ich helfe du hilfst er hilft	**half**	(ich habe) (er hat) **geholfen**
K	21 **kennen** 知っている	ich kenne du kennst er kennt	**kannte**	(ich habe) (er hat) **gekannt**
	22 **kommen** 来る	ich komme du kommst er kommt	**kam**	(ich bin) (er ist) **gekommen**
	23 **können** ～4ができる	ich kann du kannst er kann	**konnte**	(ich habe) (er hat) **gekonnt**
	(話法の助動詞) ～できる			(ich habe) (er hat) 不定形 **können**
L	24 **laden** 積む	ich lade du lädst［レーツト］ er lädt ［レート］	**lud**	(ich habe) (er hat) **geladen**
	25 **lassen** ～ 4 をやめる	ich lasse du lässt er lässt	**ließ**	(ich habe) (er hat) **gelassen**
	(使役の助動詞) ～ 4 に…させる			(ich habe) (er hat) 不定形 **lassen**
	26 **laufen** 走る／歩く	ich laufe du läufst［ロイフスト］ er läuft ［ロイフト］	**lief**	(ich bin) (er ist) **gelaufen**
	27 **lesen** ～ 4 を読む／読書する	ich lese du liest er liest	**las**	(ich habe) (er hat) **gelesen**
	28 **liegen** 横たわっている	ich liege du liegst er liegt	**lag**	(ich habe) (er hat) **gelegen**

SAMPLE

	不定形	現在形	過去基本形	過去分詞
M	29 **mögen** ～[4]が好きだ	ich mag du magst er mag	**mochte**	(ich habe) (er hat) **gemocht**
	30 **müssen** ～[4]へ行かなければならない	ich muss du musst er muss	**musste**	(ich habe) (er hat) **gemusst**
	(話法の助動詞) ～ねばならない			(ich habe) (er hat) 不定形 **müssen**
N	31 **nehmen** 取る／～[4]に乗る	ich nehme du nimmst er nimmt	**nahm**	(ich habe) (er hat) **genommen**
	32 **nennen** 名づける	ich nenne du nennst er nennt	**nannte**	(ich habe) (er hat) **genannt**
R	33 **rufen** 呼ぶ	ich rufe du rufst er ruft	**rief**	(ich habe) (er hat) **gerufen**
S	34 **scheinen** 見える／輝く	ich scheine du scheinst er scheint	**schien**	(ich habe) (er hat) **geschienen**
	35 **schlafen** 眠る	ich schlafe du schläfst er schläft	**schlief**	(ich habe) (er hat) **geschlafen**
	36 **schlagen** 打つ	ich schlage du schlägst er schlägt	**schlug**	(ich habe) (er hat) **geschlagen**
	37 **schließen** 閉じる	ich schließe du schließt er schließt	**schloss**	(ich habe) (er hat) **geschlossen**
	38 **schreiben** 書く／手紙を書く	ich schreibe du schreibst er schreibt	**schrieb**	(ich habe) (er hat) **geschrieben**
	39 **schwimmen** 泳ぐ／泳いで行く	ich schwimme du schwimmst er schwimmt	**schwamm**	(ich habe) (er hat) **geschwommen** (ich bin) (er ist) **geschwommen**
	40 **sehen** 見る／～[4]が見える／～[4]に会う	ich sehe du siehst er sieht	**sah**	(ich habe) (er hat) **gesehen**
	41 **sein** *be* ～である／～にある、いる	ich **bin** wir **sind** du **bist** ihr **seid** er **ist** sie **sind**	**war** ヴァール	(ich bin) (er ist) **gewesen** ゲヴェーゼン
	42 **singen** 歌う	ich singe du singst er singt	**sang**	(ich habe) (er hat) **gesungen**

SAMPLE

	不定形	現在形	過去基本形	過去分詞
	43 **sitzen** すわっている	ich sitze du sitzt er sitzt	**saß**	(ich habe) (er hat) **gesessen**
	44 **sollen** ～[4]をすべきである	ich soll du sollst er soll	**sollte**	(ich habe) (er hat) **gesollt**
	(話法の助動詞) ～すべきである			(ich habe) (er hat) 不定形 **sollen**
	45 **sprechen** 話す	ich spreche du sprichst er spricht	**sprach**	(ich habe) (er hat) **gesprochen**
	46 **stehen** 立っている	ich stehe du stehst er steht	**stand**	(ich habe) (er hat) **gestanden**
	47 **steigen** 登る	ich steige du steigst er steigt	**stieg**	(ich bin) (er ist) **gestiegen**
	48 **sterben** 死ぬ	ich sterbe du stirbst［シュティルプスト］ er stirbt［シュティルプト］	**starb**	(ich bin) (er ist) **gestorben**
T	49 **tragen** 運ぶ／身につけている	ich trage du trägst［トレークスト］ er trägt［トレークト］	**trug**	(ich habe) (er hat) **getragen**
	50 **treffen** ～[4]に出会う	ich treffe du triffst［トリッフスト］ er trifft［トリッフト］	**traf**	(ich habe) (er hat) **getroffen**
	51 **treten** 踏む／歩む	ich trete du trittst［トリットゥスト］ er tritt［トリット］	**trat**	(ich habe) (er hat) **getreten** (ich bin) (er ist) **getreten**
	52 **trinken** 飲む	ich trinke du trinkst er trinkt	**trank**	(ich habe) (er hat) **getrunken**
	53 **tun** する	ich tue du tust er tut	**tat**	(ich habe) (er hat) **getan**
V	54 **vergessen** 忘れる	ich vergesse du vergisst er vergisst	**vergaß**	(ich habe) (er hat) **vergessen** └ge-をつけない
W	55 **waschen** 洗う	ich wasche du wäschst er wäscht	**wusch**	(ich habe) (er hat) **gewaschen**
	56 **werden** ～[1]になる	ich werde du wirst［ヴィルスト］ er wird［ヴィルト］	**wurde** ヴルデ	(ich bin) (er ist) **geworden** ゲヴォルデン
	(受動の助動詞) ～られる、～される			(ich bin) (er ist) 過去分詞 **worden**

SAMPLE

不定形	現在形	過去基本形	過去分詞
57 **werfen** 投げる	ich werfe du wirfst er wirft	**warf**	(ich habe) (er hat) **geworfen**
58 **wissen** 知っている	ich **weiß** [ヴァイス] du **weißt** [ヴァイスト] er **weiß**	**wusste**	(ich habe) (er hat) **gewusst**
59 **wollen** ～[4]がほしい	ich will du willst er will	**wollte**	(ich habe) (er hat) **gewollt**
(話法の助動詞) ～するつもりである			(ich habe) (er hat) 不定形 **wollen**
Z 60 **ziehen** 引く	ich ziehe du ziehst er zieht	**zog**	(ich habe) (er hat) **gezogen**

SAMPLE

SAMPLE

ドイツ語ルネサンス【第４版】

2027 年 2 月 20 日　第 1 刷発行

著　者―― 河田一郎（かわだ いちろう）
渡辺徳夫（わたなべ とくお）
山本知佳（やまもと ちか）
発行者―― 前田俊秀
発行所―― 株式会社三修社
〒 150-0001　東京都渋谷区神宮前 2-2-22
TEL 03-3405-4511 ／ FAX 03-3405-4522
https://www.sanshusha.co.jp/
振替 00190-9-72758
編集担当　永尾真理
印刷所―― 壮光舎印刷株式会社

SAMPLE

©2027 Printed in Japan　ISBN978-4-384-12317-3 C1084

本文デザイン―― XYLO
表紙デザイン―― 岩泉卓也
表紙写真―― *Litzlberg am Attersee* von Gustav Klimt
イラスト―― おぐらきょうこ／zoi

JCOPY〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088 FAX 03-5244-5089 e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

SAMPLE